

年報

—平成16年度—

2005

大磯町郷土資料館

目次

〔事業報告〕	
庶務	2
・組織および職員	
・運営委員会	
・予算	
・維持管理	
・入館者	
学芸	4
・企画展	
・学級 / 講座	
・刊行物	
・調査 / 研究 / 普及	
・博物館実習	
・博物館資料の収集と利用	
文化財	33
・文化財専門委員会	
・文化財の調査	
・文化財の保護啓発	
・埋蔵文化財	
〔研究報告〕	
大磯町郷土資料館所蔵の唐笈について 佐川和裕	38

事業報告

庶務

■組織および職員

教育長	教育次長	郷土資料館	(郷土資料班)
渡邊修司	今井 正	館長 武藤清治	副主幹 福島 章
			副主幹/学芸員 佐川和裕
			主 査/学芸員 國見 徹
			主任主事/学芸員 北水慶一
			臨時職員 加藤廣美
			臨時職員 晶山恵子
			臨時職員 渡邊恵子

■運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長/石田和夫 (学識経験者)
- ・副委員長/廣瀬利郎 (社会教育委員)
- ・委員/稲葉和也 (文化財専門委員)
- 近藤英夫 (町史編さん委員)
- 福島睦恵 (学校長)

<委員会の開催>

- ・第1回/平成16年7月15日 平成15年度事業報告について、平成16年度事業計画および進捗状況について
- ・第2回/平成16年12月1日 大磯町郷土資料館の基本方針について、平成16年度事業の進捗状況について、合併50周年記念展について
- ・第3回/平成17年2月23日 大磯町郷土資料館の基本方針について、平成16年度事業の進捗状況について、共催展について

■予算

<当初予算の推移>

単位：円

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
金額	57,666,000	69,757,000	62,801,000	61,638,000	60,940,000	63,293,000

□郷土資料館費 70,511,000円 □文化財関係費 4,362,000円 ■計 82,313,000円

*緊急地域雇用創出特別対策事業費 7,584,000円

<平成16年度決算>

単位：円

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	企画展	教育普及
金額	73,940	2,881,657	16,051,952	1,926,499	793,756	107,907
事業	文化財専門委員会	文化財調査保存	計			
金額	130,380	3,323,767	25,289,858			

□職員給与(5人分) 45,392,130円 ■歳出合計 70,681,988円

*緊急地域雇用創出特別対策事業費 7,560,000円

■維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託/(株) 郵便
- ・空調設備給水設備保守委託/高砂熱学工業(株) 横浜支店

- ・消防用設備保守委託／(有) 湘南消防器具商会
 - ・昇降機保守委託／ダイコー (株) 横浜営業所
 - ・自動ドア保守委託／(株) 神奈川ナプロ
 - ・自家用電気工作物保守委託／小島電気管理事務所
 - ・浄化槽維持管理委託／湘南興業 (有)
 - ・警備委託／(株) 全日警 横浜支社
 - ・燻蒸業務委託／関東港業 (株) 横浜営業所
 - ・敷地管理委託／(財) 神奈川県公園協会
 - ・祭り船解体組立 (展示) 委託／大磯御船祭保存会
 - ・木造神像修理委託／光園美術研究所
 - ・動物剥製委託／(有) ニヶ崎科学標本社
- <施設の修繕>
- ・エレベーター機器修理／ダイコー (株) 横浜営業所
 - ・中央監視装置部品交換／(株) 山武ビルシステムカンパニー 横浜支店

■入館者

<入館者の推移>

単位：人、日

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	累計 (昭和63年～)
入館者数	25,395	32,886	30,835	28,497	28,250	559,218
1日平均/開館日数	91/277	117/281	112/274	100/285	97/291	119 /4,675

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	3,561	2,750	1,851	1,946	1,717	1,819	2,924	2,902	1,647	1,836	2,297	3,000	28,250
1日平均	142	110	80	84	68	72	112	120	71	79	99	115	97

<見学・視察>

館対応のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	5	3	1	3	1	4	2	3	2	1	1	27

<学校利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
小学校	3	1	1	—	—	—	3	—	—	1	—	1	10
中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
合計	3	2	3	1	—	—	4	—	—	1	—	1	15

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	16	16	12	17	13	13	11	11	12	10	11	8	150

学 芸

■企画展

江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展1「灯」

期 間 平成16年5月2日(日)～8月31日(火)

開場日数 96日間

会 場 企画展示室、休憩室

資料点数 約130点

料 金 無料

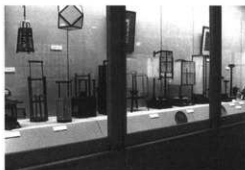
入場者数 8,264人

(趣 旨) 近年、博物館利用者の知的欲求は多様化し、博物館をめぐる環境も大きく変化するなかで、博物館相互のネットワークはますます重要になっている。江戸民具街道と当館は、設置の経緯や運営スタイルこそ異なるが、最終的には同じ目標を持った博物館施設である。それぞれの博物館の特徴を活かしながら、できることから協働することで、一層充実した資料や情報を多くの方々に提供できることはもちろん、両館がそれぞれにスキルアップし、今後の博物館活動のあり方を考える契機になると考える。

(内 容) 私たちの暮らしにとって、最も身近な道具のひとつである「灯(あかり)」をテーマとした。展示資料は、灯火具を800点所蔵する江戸民具街道のコレクションを中心に、130点余りで構成した。さまざまな素材に光源を求め、さまざまな工夫が施された灯火具を見ることで、暮らしのなかで培ってきた人々の豊かな発想、確かな技術、きめ細やかな心遣いを感じていただくことを期待した。展示資料のうち、そのほとんどが江戸民具街道所蔵資料で構成したため、当館で活動対象としている地域の特長を描き出すことは、やや希薄となってしまった感がある。もちろん若干ではあるが、当館が所蔵している相模湾の漁撈にかかわる灯火具や情報を挿入するなどの工夫は試みているが、それがどれほどの視点を確保できたのかは心もとない。何よりも、アンケートにおいて企画の地域性についての批判的な意見がみられたのは、真摯に反省すべき点といえる。ただ、一つの信念をもって長い年月にわたって収集され続けてきた“個人コレクション”は、少なくとも一自治体の小規模博物館の力では到底収集することのできないものばかりであり、その圧倒的な存在は観覧者に強い印象を与えたようである。また、それぞれの館が持っているネットワークにより、広報活動において相乗効果がみられた点などは、両博物館の活動を補完しつつ特徴を活かそうという当初のねらいにかなったものと考えている。

なお、本展示は共催展ではあるが、両館の展示・運営環境などを考慮して巡回展とはしなかった。本展示に使用した資料群は、その多くが江戸民具街道の常設展を構成する資料であることや、企画展示スペースが双方で差異があること、また、江戸民具街道側の入館料が有料であることなど、いくつかの点で課題が認められたためである。

さて、本展示では会期中にアンケートを実施した。展示室に設置しておいたアンケート用紙は、最終的に156枚回収することができた。アンケートには回答者の住所、来館回数、年齢、性別とあわせて、展示の感想や意見を自由に記載していただく欄を設けている。回収率は観覧者の僅か2パーセントに過ぎず、また、一部には記載漏れもあることから、厳密な集計をするには至っていない。しかし、ここには観覧者による展示評価、あるいは博物館評価として真摯に受けとめるべき意見が集約されている。そこで、本稿では、基本的事項の集計と、若干の感想や意見を紹介しておきたい。なお、これまでのアンケートと比べて、全年齢層から満遍なく回収されたこと、特に20歳代～40歳代の回収率が高いのが特



徹であり、共催展の趣旨や展示内容については概ね良い評価をいただいている。むしろ、厳しい注文については、資料館施設そのものや、資料館全体にかかわる点についての内容が多かった。

<来館者の住所(人)>

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| ・大磯町内 (41) | ・平塚市 (26) | ・横浜市 (11) | ・小田原市 (8) |
| ・茅ヶ崎市 (7) | ・二宮町 (7) | ・秦野市 (6) | ・相模原市 (4) |
| ・藤沢市 (3) | ・鎌倉市 (3) | ・横須賀市 (2) | ・川崎市 (2) |
| ・綾瀬市 (2) | ・開成町 (1) | ・箱根町 (1) | ・厚木市 (1) |
| ・伊勢原市 (1) | ・大和市 (1) | ・東京都 (10) | ・埼玉県 (2) |
| ・茨城県 (2) | ・不明 (15) | | |

<来館回数(人)>

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| ・初めて (67) | ・2回以上 (79) | ・不明 (10) |
|-----------|------------|----------|

<年齢別>

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|-------------|
| ・1~9歳 (23) | ・10~19歳 (26) | ・20~29歳 (10) | ・30~39歳 (9) |
| ・40~49歳 (9) | ・50~59歳 (13) | ・60~69歳 (17) | ・70~79歳 (9) |
| ・不明 (40) | | | |

<感想・意見(原文のまま)> ○=好意的意見 ▲=批判的意見 ◇=要望的意見

- 『夜なべ仕事』『灯りの相性』の解説がおもしろく説得力のある見方だと思いました。(5/2、小田原市、男性62歳、来館初)
- ◇「昔から、ランプなどに興味があり、今回の展示があることを聞いて見に来ました。個人的な感想としては、もう少し実際に灯がともった様子を見て見たかったのですが、展示自体は、素晴らしいと思いました。また、このような展示があれば、ぜひ見に来たいと思います。」(5/4、東京都、女性21歳、来館2回以上)
- 「こっとうひんとか、いろいろなものがいっぱいおいてあった。へんがすきそうなばっかりでした。とてもたのしかったです。またきたいな。」(5/4、平塚市、女児7歳、来館5回)
- 「ひょうちいしがおもしろかった。てしよくがたのしかったです。」(5/9、大磯町、男児6歳、来館2回以上)
- ▲「さすがの展示の量と質。ただし、たとえば浅利さんの名演技たる『火ウチ石』も、一(図略)一のようなセツメイが、あれば、なんとお見えて通るだけ、じゃないかと、ア>もったくない。でも、まあ、『民具街道』へ行くからいい、というわけ？」(5/11、秦野市、不明、来館2回以上)
- 「『灯』は楽しく拝見しました。しかも無料です。大磯ですごいなと思いました。鎌倉と比べて、可愛いひょうそく 次回秋には又参りますので、その時に求めたいと思います。ついでに公園も落着いてよかったです。」(5/15、鎌倉市、女性70歳、来館初)
- ◇「全展示品の解説が欲しかった(抜けているもの多数あり)。遠州行灯と円周行灯はどちらが正しい? 大変面白い企画展でした。」(5/27、相模原市、男性63歳、来館初)
- 「あかりの移り変わりが表でよくわかりました。他館とのネットワークはとても良い企画と思います。今後も色々ともつらしい企画をお願いします。」(5/28、大磯町、女性62歳、来館20回)
- ▲「説明の字を倍位にして読み易いようにして。壁面陳列は暗くて説明が読みにくい。」(5/28、横須賀市、男性61歳、来館5回)
- 「新緑をみながら、またやって来ました。いつもいろいろなめずらしい展示をありがとうございます。今回の『灯』のテーマは、身近なもので、子供も興味をともっていました。もつとたくさんの人にみてもらいたいです。」(5/29、茅ヶ崎市、女性40歳、来館10回)
- ▲「展示スペースがせまい。」(5/29、平塚市、男性37歳、来館5回)
- ◇「火を起す手段(火打石、舞錘等)の実演、若くは小中學校の生徒に実験させる様な場所を作って見たら面白いと思ふ。」(5/29、大磯町、男性76歳、来館2回以上)
- ◇「立派な建物と展示物に驚きました。ただ館内の空気が悪いので、換気気にをつけていただけたらと思います。」(5/30、東京都、女性61歳、来館初)
- 「灯の文化がよく分かり、江戸時代から明治時代へ灯の変化に感動しました。そして江戸民具の技術がとてもすばらしいと思いました。」(6/4、大磯町、女児11歳、来館約20回)
- 「灯具の歴史が良くわかるすばらしい企画展です。江戸時代から大正時代にかけて、こんなに

も多く灯火具が使われていたことにあらためて感無量の思いです。各々の時代に用途に合わせて、工夫をこらした灯火具がつくれ、使いこなしていた人々の姿が思いのぼれるようです。現代の豊かな生活になれてしまった私達に灯火具の歴史をたどることによって、昔の人々の生活の知恵のすばらしさを学ぶよい機会だと思います。貴重な灯火具の数々の展示物、企画展を見学させて頂きましてありがとうございます。展示期間中にもう一度見学させて頂こうと思っています。」(6/18、二宮町、男性68歳、来館30回以上)

- 「いろいろな古物があって、たいへんきょうになりました。学校のじゅぎょうで新聞を作るのに使わせていただきました。」(6/23、大磯町、女児9歳、来館10回以上)
- 「桜土手古墳館で頂いたチラシで開催を知りました。とても興味深い展示でした。編年や型そのものの分類、役割の違い等も理解出来て良かったです。『江戸民具街道』の方も近い内容だと思います。今後の展示も楽しみに致しております。」(6/25、平塚市、女性35歳、来館5~6回)
- 「とっても感動した。卓上ランプが気に入ったので欲しくなった。ぜひもう一回来てみたいと思った。」(7/6、平塚市、女性18歳、来館3回)
- ▲ 「2館の共催という企画は面白い。今後いろいろな方法を考えられるとよろし。ところで大磯→江戸民具ということも考えているのだろうか？(ちょっといくのは不便にも思えますが)。灯火具の状態もよく、電灯以前のあかりについて基本的なところはおさえてある。ただ、解説を冒頭にまとめてしまったのは、理解の面で難があるし、展示にアクセントなくなってしまったようで残念。灯火具の地域性について何かほしかった。大磯ではどうだったのか？漁師町では、農家では、さらに時代を経て別荘では、いつ、何を使っていたか、というような内容をパネル1つでもいいので、あればよかったと思う。その有無の違いは案外大です。この館らしさが出たと思うなあ。(後略)」(7/10、東京都、男性43歳、来館初)
- ▲ 「大磯駅で聞いてもわからず、観光案内所で聞いて下りたバス停からの目印もわかりにくく、着いたところで資料館への案内もなかった。私のように初めての人間には不自由でした。内部も常設と特別展示の場所がはっきり示されておらず。ただ、静かでゆっくり見れたのが幸でした。一言、トイレの入口にロッカーがあるとは言え、女性トイレの中にフックがあっても良いのではと思いました。又、何か興味のあるものの展示の折りは、ぜひ伺いたいと思います。ありがとうございます。」(7/24、横浜市、女性、来館初)
- 「なかなかすごいと思った。変なえいぞうがおもしろかった。とにかくスゴイと思いました。また来たいです。」(7/25、茨城県、女性15歳)
- 「私の家は江戸初期から400年近く続いていますが、途中何度も火災に逢い、先祖の遺物が殆どありません。先祖から伝承している民具を現実に見学することができて、うれしいひとときでした。」(7/29、横浜市、男性73歳、来館初)
- ◇ 「子どもでも分かるような文(説明)にしてほしい。昔の話がビデオで流れているのはいいと思う。自然のことなどもうすこし展示をふやしてほしい。」(8/5、平塚市、女児11歳、来館初)
- ◇ 「これだけの企画にもっと人がきて欲しいと思う。もともともの長さ、各学校など、小田原～藤沢位の範囲で宣伝しておけばと思う。そのさい江戸時代に深い教養のある人の解説があれば尚よい。こうしたものを無料でやっている大磯町に深い感謝と大きな心を感じる。人間を育てるのはこうした心と志であると思う。」(8/11、茅ヶ崎市、男性73歳、来館2回)
- 「『民』と『公』のコラボレーションによる『共催展』という試み、たいへん面白いと思います。「公」が「良」の情熱と努力の結晶を、展示テーマ『灯り』のように暖かく伝える営みに感じました(MUSEUMグッズの販売を含め)。今後の『スキルアップ』の成果を楽しみにしております。」(8/27、埼玉県、男性45歳、来館初)
- ◇ 「すばらしい灯火具をそろえていただき大変参考になりました。できれば記録があればよかったと思います。リーフレットのさし絵を、展示の順に掲載していただければなおわかりやすいと思います。ありがとうございます。」(7/27、埼玉県、女性50歳、来館初)
- ◇ 「体験できる物をもっとふやしてほしい。」(7/28、不明、女性13歳、来館初)

(担当) 佐川

「大磯 高麗山の植物」

期 間 平成16年9月12日(日)～10月31日(日)

開場日数 42日間

会 場 企画展示室

出品点数 約100点

料 金 無料

入場者数 4,328人

(趣旨) 大磯町の東端に位置する高麗山は、大磯駅からの距離も然程、遠くなく手頃な丘陵地の散策地として親しまれている。自然観察の場としても四季を通じて山野の植物が見られ、植物愛好家の関心を集めている。年間を通して草本類を調査しているグループ、個人的にホームページ作成のために踏査されている人たちが日々、山道を往來している。

高麗山は辿ってきた歴史的背景から、南斜面と他の斜面では植物相が大きく異なる。南斜面は今なお自然植生が残され、学術的に貴重な自然林として県の天然記念物に指定されている。北側から東側にかけては太平洋戦争の戦後復旧作業のため樹木は伐採されてしまい現在では比較的新しい樹林が形成されている。また昭和30年頃はクロマツが優占する樹林であったようだが、昭和50年頃、モミ、スギ、サワラなどの針葉樹とともに枯れてしまい、現在ではタブノキ、スタジイなどの常緑広葉樹が広がっている。こうした高麗山の植生遷移の状況を古写真を通して紹介する。あわせて四季の草花、樹林を構成する樹木などを生態写真・標本等を通して紹介し、現植生の周知化を図るとともに県民の森として愛着を深めていただく。

(内容) 本展では「高麗山の樹木」、「高麗山の草花」、「高麗山のシダ植物」、「高麗山 四季の移り変わり」、「高麗山の植生の推移」の5つの小テーマで展示を構成した。展示資料は植物標本と生態写真が中心であり、特に本展では個々の植物の形態的特徴を捉え、印象付けられるように解説文に力を注いだ。

i) 「高麗山の樹木」

当館所蔵の植物標本と解説文で展示を構成。現在高麗山で確認されている植物24種と高麗山が基準産地となっているケハイザクラ1種を紹介した。解説は個々の植物の見分け方や植物の有用性について特記した。

ii) 「高麗山の草花」

生態写真と解説文で構成。散策した際、比較的目的に付きやすい46種を抽出し、紹介した。解説は薬用・食用等の有用性について特記した。本コーナーは当館の講座「草と木の調査」に参加されている石井竹夫氏に生態写真の提供や解説文の執筆等のご協力いただいた。

iii) 「高麗山のシダ植物」

当館所蔵の植物標本と解説文で展示を構成。高麗山で現在、比較的良好に確認できる13種を紹介した。解説は個々の植物の見分け方を中心にまとめたが、シダの特有の専門用語が多くなり、分かりづらくなった感否めない。今後の課題とした。

iv) 「高麗山 四季の移り変わり」

高麗山を同じ場所から撮影した写真を用い、四季の移り変わりの様子を紹介した。

v) 「高麗山の植生の推移」

明治、大正、昭和、平成それぞれの時代の高麗山の様子を写真を通して紹介した。

(担当) 北水



「合併 50 周年記念写真展」

期 間 平成 16 年 11 月 14 日 (日) ～ 平成 17 年 1 月 16 日 (日)

開場日数 48 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 90 点

料 金 無料

入場者数 4,404 人

(趣 旨) 平成 16 (2004) 年は、昭和 29 (1954) 年に町村合併促進法に伴い大磯町と旧国府町が合併し、現在の大磯町が誕生してから 50 年を迎える年であった。星霜を重ねた 50 年という区切りの年を迎え、合併当時の風景や以後の町の移り変わりを示す写真資料を紹介することを主眼とした。展示資料については、町所蔵写真の他、個人の方が撮影・所蔵されている写真資料についても町広報紙により情報提供を呼びかけ、展示を構成した。

(内 容) 今回の展示では、昭和 29 (1954) 年を基点として現今にいたるまでの編年を基調として事象や風景などを紹介している。展示構成について概観する。

会場である企画展示室を右回りの順路とした。展示資料は基本的に年順に配置した。入口左側のカウンター上に印刷物等配布資料を設置し、左壁面には「合併 50 年大磯町のあゆみ 1954～2004」と題する年表(註 1)をパネル化して掲げた。また同壁面には合併以前の風景として昭和 22 (1947) 年撮影の航空写真パネル(既存資料)を掲げた。本資料は展示資料中、多く衆目を引く様子が看取された。入口正面壁面には「合併までの主な経緯」として経過を示す当時の町広報紙等をパネル化して掲げた。

企画展示室奥のガラスケース内には、先ず合併に関わる文書資料の簿冊の現物資料の他、パネル化した新聞記事、同年撮影の航空写真を配した。ケース中央からは合併後、翌昭和 30 (1955) 年 1 月 22・30 日に举行された合併祝賀会の風景写真を展示した。祝賀会の風景写真原板はリバーサル・カラーによるスライドであり、題材としては海水浴場、大磯ロングビーチ、「大磯カーニバル」(註 2)、東京オリンピックなどのほか、市井の風景等が挙げられる。

尚、企画展示室内におけるガラスケース内の写真は観覧者からの距離が近いことから、原則木製の写真パネルを用い質感を持たせるべく留意した。さらにガラスケース脇の壁面には昭和 40 年代の事象を紹介した。

企画展示室中央の昇降台の箇所は、周囲を組立式の展示板で囲い写真パネルを配する構造とした。中央展示板の写真は個人の方が長年にわたって撮り貯めた資料が中心となった。時期は昭和 50 (1975) 年～平成 15 (2003) 年までである。題材としては、海水浴、祭礼の他、日常の市井の風景等多岐にわたる写真を紹介することが出来た。最新の平成 15 (2003) 年のパネル脇の展示板は空白とした。空白部分はスポットライトの影部分として展示全体の溶音(fade-out)を意図したライティングとした。

露出した写真パネルは観覧者との距離も近く、また組立式展示板の耐荷重が低いことから軽量のパネルを用いて展示を構成した。尚、昇降台は展示台としてではなく、段差を付け、座布団を置き腰掛として使用した。腰掛を利用して見学する観覧者も看取された。出口脇の壁面には、順路前半に掲げた昭和 22 (1947) 年撮影航空写真の対比資料として平成元 (1989) 年撮影の航空写真(既存資料)を掲げた。

展示期間については合併の日である 12 月 1 日を挟んで設定した。

註：1 大磯町史編さん近代部会作成

2 昭和 29 (1954) 年～35 (1960) 年まで毎年開催された。

(担 当) 國見



東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館共催展

「日本人形の姿と形―節句飾りを絵解きする―」

期 間 東京家政学院生活文化博物館会場：平成16年10月8日（金）～ 11月14日（日）

大磯町郷土資料館会場：平成17年2月6日（日）～ 5月8日（日）

<大磯町郷土資料館会場>

開場日数 76日間

会 場 企画展示室、休憩室

出品点数 約400点

料 金 無料

入場者数 8,707人

（趣 旨）近年、博物館をめぐる環境が大きく変化するなかで、地域博物館のあり方を考える一環として進めた企画。博物館同士のネットワークを視野に入れた活動であり、本年度第1回企画展として実施した江戸民具街道との共催展の教訓を活かしながら、大学博物館との共催展を実施する。また、（株）久月、ならびに久月人形学院から協力をいただきながら、「産学官」による協働作業を行なうことを試みる。

（内 容）当館では、隔年ごとに雛人形展を開催しているが、今回はより発展的な視点を盛り込んだ内容となった。伝統的な日本人形の姿や、節句飾りをあらためて見直すことにより、そこに込められた人々の気持ちや願いといった日本文化の精神世界をとらえる契機として、いくつかのテーマを設定して展示した。「五つの節句」「雛段をかざる人形」「端午の節句」「人形の技術」というテーマのもと、古文書により、随所に雛祭りや端午の節句、あるいは雛市などの絵解きを挿入して構成した。特に、東京家政学院大学附属図書館において所蔵されている「大江文庫」のなかから、数々の貴重本を拝借し、展示することができたのは幸いであった。ただし、先行して展示を開催した東京家政学院生活文化博物館と当館の企画展示室とでは、展示面積や展示ケースなどの設備の面で異なる部分が多く、完全な巡回展としてはいえない状況であり、大磯会場では大幅に資料や展示構成を再検討しなければならなかった。しかし、結果的には、そのことが大磯の地域性へとつながったようであり、特徴のある展示となったものと考えている。もし、双方の展示を見た観覧者がおられれば、巡回展とはいえ、随分と異なる印象を持たれたに違いない。なお、今回は端午の節句人形を大きく取り入れているため、2月から5月までと展示期間が長期にわたることとなった。したがって、一部の資料は期間中に展示替を要するものもあり、資料保護の見地からは若干の問題が残った。また、今回は、休憩室にビデオ機器とモニターを設置し、東京家政学院生活文化博物館から借用した日本人形に関連したビデオテープを視聴できるように設定した。

ところで、展示にかかわる刊行物としては、チラシ、ポスター、図録を刊行した。特に図録については、双方の博物館職員、大学教員、（株）久月、久月人形学院の担当者が分担執筆を行ない、先行して展示を開催する東京家政学院生活文化博物館において編集し、チラシやポスターとともに発注がなされている。したがって、予算的な裏づけが乏しく、単独では図録の印刷は不可能である当館では、大磯会場での開催に合わせてチラシと図録を増刷して作成することで、印刷費を確保することができた。ただし、予算上、ポスターの印刷はかかわらなかった。ただし、大学博物館と地域博物館それぞれのネットワークの特徴を活かしてのチラシやポスターによるPRは大きな力になったものと思われる。

なお、期間中に、久月人形学院のご協力をいただき、体験講座「木目込み人形作り」を開催した。



< 展示資料一覧 (大磯町郷土資料館会場) >

No.	資料名	数量	所蔵者	備考
1	こけし	1	個人	日本
2	ブリキの人形	2	個人	日本
3	キャラクター人形	31	個人	日本
4	キャラクター人形	6	個人	日本
5	ぬいぐるみ	2	個人	日本
6	ぬいぐるみ	1	個人	日本
7	リカちゃん人形	3	個人	日本
8	抱き人形	1	個人	日本
9	キュービー人形	2	個人	日本
10	木彫人形	1	個人	日本
11	貝細工人形	1	個人	日本
12	郷土人形	5	個人	日本
13	土偶	1	個人	日本、複製
14	埴輪	1	個人	日本、複製
15	マトリョーシカ	1組	個人	ロシア
16	民族人形	13	個人	スペイン
17	民族人形	1	個人	オランダ
18	木彫人形	1	個人	ベトナム
19	木彫人形	3	個人	インド
20	木彫人形	1	個人	ケニア
21	わら人形	1	個人	ロシア
22	あやつり人形	1	個人	ミャンマー
23	あやつり人形	2	個人	インドネシア
24	魔法使いの人形	1	個人	スウェーデン
25	人形 (ひとがた)	1	個人	湯殿山神社
26	人形 (ひとがた)	1	東京家政学院生活文化博物館	湯殿山神社
27	人形 (ひとがた)	1	東京家政学院生活文化博物館	寒川神社
28	形代 (かたしろ)	2	当館	六所神社、平成16年
29	流し糺	2	東京家政学院生活文化博物館	鳥取県用瀬町、平成16年
30	フナダマサマ	1組	当館	神奈川県三浦市、平成4年
31	フナダマサマ	1組	当館	神奈川県大磯町
32	道子	1	当館	明治時代
33	道子	1	当館	当館複製
34	オボコ	2	個人	山梨県巨野川町、昭和55年
35	押し絵糺	4	江戸民具街道	長野県松本市、明治時代
36	立ち糺	1組	個人	江戸時代
37	サルンボ	8	大磯御船祭保存会	昭和50年代
38	サルの人形	1	大磯御船祭保存会	明治時代
39	泥人形	5	江戸民具街道	明治～大正時代
40	随神	1組	大磯町南本町	江戸時代
41	御所人形	2	当館	明治時代
42	衣裳人形	1	平塚市博物館	江戸時代
43	張子人形	1	江戸民具街道	昭和初期
44	張子人形	1	当館	明治時代
45	張子人形	4	東京家政学院生活文化博物館	平成16年
46	雛段飾り	1式	個人	明治36年
47	享保糺	7	平塚市博物館	江戸時代

48	雛段飾り	1式	当館	昭和15年
49	御殿飾り	1式	当館	昭和29年
50	市松人形	1	当館	昭和35年
51	抱き人形	2	当館	明治～大正時代
52	応神天皇と従者	1組	当館	明治30年
53	鐘植	1	当館	昭和初期
54	神武天皇	1	当館	昭和18年
55	天神	7	当館	明治時代
56	五月人形	9	当館	明治時代
57	ザンザラ	1	個人	神奈川県大磯町、昭和40年代
58	鶯籠	1	東京家政学院生活文化博物館	茨城県水戸市、平成16年
59	幟	2	東京家政学院生活文化博物館	平成16年
60	内幟	1式	当館	昭和18年
61	燈幟	1式	当館	昭和50年代
62	人形の衣裳布	40	東京家政学院生活文化博物館	平成16年
63	木目込み人形	1式	東京家政学院生活文化博物館	製作工程一式、平成16年
64	市松人形	1式	東京家政学院生活文化博物館	製作工程一式、平成16年
65	『女風俗玉鏡』	2	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、享保17年
66	『諸国国会年中行事大成』	2	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、文化8年
67	『女用訓蒙図彙』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、元禄元年
68	『難あそびの記・貝合の記』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、寛延2年
69	『本朝歳時記故実』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、延享3年
70	『女一代風俗絵本十寸鏡』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、延享5年
71	『日本歳時記』	4	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、貞享5年
72	『江戸名所図会』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、天保7年
73	『東都歳時記』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、明治26年
74	『育児上の縁書に関する玩具図説』	8	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、昭和4～6年

*パネル類を除く

なお、期間中に展示室に設置しておいたアンケート用紙は、最終的に93枚回収することができた。アンケートには回答者の住所、来館回数、年齢、性別と、展示の感想や意見を自由に記載していただく欄を設けている。総入館者数からすれば、アンケート回収率は、わずかにパーセント余りに過ぎないため、全体的な傾向とするには無理がある。しかし、観覧者による展示評価として真摯に受けとめるべき意見も少なくない。ここでは基本的事項の集計と、若干の感想や意見を紹介しておきたい。

<来館者の住所(人)>

・大磯町内(33) ・平塚市(19) ・二宮町(6) ・茅ヶ崎市(4) ・藤沢市(3)
 ・横浜市(2) ・横須賀市(2) ・川崎市(2) ・城山町(2) ・小田原市(1)
 ・綾瀬市(1) ・厚木市(1) ・大和市(1) ・逗子市(1) ・東京都(5)
 ・埼玉県(1) ・千葉県(1) ・静岡県(1) ・愛知県(1) ・不明(6)

<来館回数(回)>

・初めて(40) ・2回(12) ・3回以上(41)

<年齢別>

・1～9歳(7) ・10～19歳(21) ・20～29歳(5) ・30～39歳(8) ・40～49歳(1)
 ・50～59歳(10) ・60～69歳(13) ・70～79歳(8) ・不明(20)

<感想・意見(原文のまま)> ○=好意的意見 ▲=批判的意見 ◇=要望的意见

○ 「大変なつかしい昔のひなまつり等、展示を拝見びっくりしました。昔の大磯町及周辺の生活状況の一部が見られる様です。大切な宝ものだと思います。3月の節句を前に家族、孫達にも見せたいと思っております。どうもありがとうございます。」(2/10、二宮町、男性75歳、来館

10回)

- 「丁度自宅でもひな人形を飾ったばかりだったので、飾り方やお人形の細か〜所めで興味深く見せて頂きました。何度がこちらの公園には来ていたのですが会館に入ったのは初めてでした。」(2/12、藤沢市、女性31歳、来館初)
- 「城山公園散歩から入館した出合いの観覧でしたが、大変丁寧な説明と館内の落ち着いた、設計のセンスの良さに、良い思いを致しました。私のひな人形は祖母から代々伝えられた思い出が多く、江戸の華やかさを感じていましたが、この資料館の説明で納得できました。あらためて我家の人形を大切に、又、子供に伝えてゆく思いが厚くなりました。」(2/19、大磯町、女性61歳、来館初)
- ◇ 「たいへん良いものを拝見させて頂きました。保存に力を入れて下さい。」(2/25、大磯町、男性60歳、来館初)
- ▲ 「国府についてもっと知りたかったです。学芸員の方はどこに? 特に表記されていないかったです。レプリカはなかったんですね?」(2/27、藤沢市、女性24歳、来館初)
- ▲ 「もうすこしたくさんあるとより良いと思います。前に来た時とあまり変化がないようです。」(2/27、平塚市、女性58歳、来館5〜6回)
- 「展示の仕方がよかったです。来るたびに、いろいろな展示がされているので楽しみです。」(2/27、東京都・大磯町、女性20歳・55歳、来館3回以上)
- 「限られた展示スペース精一杯活用されて、工夫された展示をされていたと思います。展示品の説明も簡潔明瞭にまとめられており適切であると思われ。身近な郷土にまつわる人形から世界各地の人形まで色々な切り口が紹介されており、誰でも無理なく楽しめる企画であったと思います。貴館のますますの発展をお祈り致します。」(3/6、二宮町、男性30歳、来館20回)
- ▲ 「展示の後方の家政学院の校章が上下逆になっておりました。」(3/6、藤沢市、女性、来館2回)
- 「資料充実しており、展示も過去だけでなく現在とクロスさせることでふくらみがでており大変よかったです。」(3/6、大磯町、不明、来館初)
- 「人形の一つ一つの形がとてもきれいでした。人形のふくもていねいにできていてとてもすばらしくまた来たいと思いました。」(3/8、大磯町、女児10歳、来館初)
- 「人形のいろいろたのしませて頂きました。主人の(昭和13年生)五月人形と息子(昭和47年生)の人形といっしょにかざっていましたが、今は押入に入ったままです。日の目をあててやりたいと考えさせられました。ありがとうございます。」(3/8、平塚市、女性58歳、来館初)
- 「毎年おひな様になると見に来るのが楽しみです。3/3はとくに過ぎて居るけれど来て見たらどれも居なくて何かもったいない感じ。ゆっくり見せて頂きました。まほう使いがまほうきに乘って居るまでであり、おもしろかったです。私達が育つ時、おひな様等なかなか無かったので本当に嬉しく見せて頂きました。ありがとうございます。」(3/10、大磯町、女性70歳、来館3回以上)
- 「私は人形はあまりきょうみがなかったけど、人形がかざってあるのを見て、いろいろな人形があるんだなと思いました。」(3/15、大磯町、女児10歳、来館約10回)
- ▲ 「たいのしかった。おもしろかった。ひなまつりの3人むすめの子ゅんぱんちがいます。まゆげのない人がまん中ですよ。」(3/15、大磯町、不明、来館2回)
- ◇ 「二丁金三丁金の説明が欲しい」(3/16、神奈川県内、男性・女性、来館3回以上)
- ◇ 「ひなの写真に見いました。(か〜にはっている数々)。鎌倉の国宝館の様に数枚絵はがきにセットになさって販売をして下さればと思いました。」(3/19、大磯町、女性60歳、来館5回)
- ▲ 「5年前とあまり物や資料・展示が変わっていない。」(3/21、大磯町、男性14歳、来館3回以上)
- ◇ 「この開催を、もっと広く知らせて、多くの人々に見てもらった方がよい。いつも閑散としていて、おしい。せっかく税金を使って、文化財の管理をしているのだから、館の活用についても活発な意見交換を行い、職員の町民への大いなる働きを望む。人形展についてはがんばったと思います。」(3/27、大磯町、男性60歳、来館3回以上)
- 「昨年、物置を解体した所、私のひな人形が出て来ました(昭和26年購入)。てっきり虫くいなど相当ひどいと思いましたが、人形・御殿など良い状態でしたので今年娘と一緒に15人どころか30人になりましてとても圧巻でした。偶然、読売新聞を見まして今日こちらに来ました。

最後に飾ったのが昭和37年位であり、母が亡くなってしまったので御職などは組立て方が分らず大変でしたがとても嬉しかったです。又、兄の五月人形も出て来ましたので、こちらも今年飾ります(昭和9年購入)。今日は良い物を見させて頂きありがとうございます。」(3/27、逗子市、女性55歳、来館初)

- 「きれいでした。むかしのひなにんぎょうは、いまよりきれいでした。つるしひなもながかったです。ほうこの赤ちゃんもかわいかったです。大人はなんて名まえかわりませんでした。また、きました。たのしかったです。」(3/29、東京都、女児7才、来館初)
- 「懐かしい展示品に興味を深く致しました。小さいころに見た光景、手にした人形のことを思い出し乍ら心地よい時をすごさせて頂きました。館内入口でみたひな段飾り、私宅で都合で一月に七段飾りをしたことも、今日につながる良い思い出となりました。人形を作りたいと思いい生活をしていますので、少しでも縫うことが出来るならと新たな意欲を抱きました。どうもありがとうございます。4/3 正午12:15 娘と共に」(4/3、平塚市、女性62歳、来館初)
- 「リカちゃん人形やアトムがありおもしろかったです。よく昔のがこっていますね。とてもたのしかったので、また、このきかくをやってください。」(4/6、大磯町、女児10歳、来館初)
- ◇「楽しく拝見させて頂きました。当時の貴重なお人形が大事に保管されているのに驚きました。入口付近のパネルのところに解説文があるとわかりやすくよかったです。」(4/8、平塚市、女性51歳、来館2回)
- 「3年前に東京の品川から引越して来ました。このレベルの展示を無料で見ているのは驚きです。藤村の旧居もそうですが、大磯は文化に力を入れていて良いですね。」(4/9、大磯町、男性42歳、来館初)
- ◇「はぶ広い世代と一緒に見られて良いと思います。いろんな時代によって作り方が違っていてその時代の味が出ていて楽しいと思います。大磯の昔の事も知りたいので、昔と今の違いも展示をやってもらいたいと思っています。」(4/9、大磯町、女性23歳、来館3回以上)
- ◇「もっと宣伝して下さい。展示してやっている日程とか内容をしらせて下さい。」(4/10、茅ヶ崎市、女性、来館初)
- 「すばらしい企画展を見ることが出来て、本当に良かったと思います。改めて人形の有する多様性を理解することが出来ました。そして人形というものが人間にとってどんなものなのか、自分自身で調べてみることにします。ただ単に子供のおもちゃとか味の間の飾り物として見過すことは出来ないものだと思いました。本当に有りかとうございました。これからもよい企画展を開いて下さい。」(4/24、二宮町、男性72歳、来館3回以上)
- ◇「各種の伝統を残しましょう。」(4/24、大磯町、男性65歳、来館2回)
- ▲「興味本位でなく出展者の真面目さを感じました。ただ出展物が片寄りすぎている感じもあります。」(4/30、大磯町、女性65歳、来館初)
- 「ひな祭りはいろいろあるのは知っていたが、端午の節句の人形がこんなにあるとは初めて知りました。一つ勉強になりました。」(5/4、小田原市、女性39歳、来館初)
- 「おもしろかったです。彼が大磯の人なので、とても行きたがっていたのでつれてこれ来ました。」(5/5、平塚市、女性26歳、来館初)

(担当) 佐川

■学級・講座

<民俗に親しむ会>

日 時 平成16年4月4日(日)・10日(土)・11日(日)・13日(火)、18日(日)

場 所 当館研修室、企画展示室

参加者 延19人

(内容) 平成11年度から継続している講座で、資料館の民俗資料整理を通して、地域の文化伝承に関わりを持つとともに、地域の方がお持ちの情報や知識を提供していただくことにより、資料を活か返らせ、さまざまな活用の可能性を広げることを目的として進めてきた。

活動内容は、平成11年度から衣類資料の整理を行なってきたが、平成15年度には、活動の成果を

多くの方々に還元するために 企画展を行なうことを念頭においた活動を展開した。会活動の総括として、また、会メンバーと館との協働作業として位置付け、企画展の企画、準備をはじめ、ギャラリートークについてもメンバーが積極的に関与し進めてきた。平成16年度の活動は、企画展におけるギャラリートークと、展示の片付け作業である。

なお、5年間の活動によって、当初の目的は概ね達成することができたことから、総括としての企画展の終了をもって、会活動をとりあえず終了することとした。最後に反省会および懇話会を開催し会を解散した。資料館と参加者との情報の共有やコミュニケーションを図るために刊行し続けてきた「民俗に親しむ会通信」についても、No.55をもって終刊とした。

なお、会の有志により、引き続き博物館資料の整理に協力したいとの意向を受け、新たに「古文書裏打ちの会」の立ち上げを目指すこととなった。

(民俗に親しむ会参加者)

新見由美子、青木ひさ子、西山綾子、平田浩子、藤田輝子、佐々木佳子、渡辺富子、北谷澄子、鶴岡レイ子、渡辺京子、中村知子

(担当) 佐川



<草と木の調査>

日 時 平成16年4月24日(土)、5月8日(土)・22日(土)、6月12日(土)・26日(土)、
7月10日(土)・24日(土)、8月7日(土)・28日(土)、9月25日(土)、10月23日(土)、
11月13日(土)・27日(土)、12月11日(土)、
平成17年1月22日(土)、2月12日(土)・26日(土)、3月12日(土)・26日(土)

場 所 当館研修室、町内

参加者 延237人

(内容) 本講座は平成11年度から実施している。植物の調査を通して、植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に始めたもので、11・12年度は第1次調査として「秋の植物の分布調査」、13年度からは第2次調査として「県立大磯城山公園の植物調査」を実施している。第2次調査の4年目にあたる本年度は第2・第4土曜日を中心に年20回の予定を組み、花ごよみ調査を月1回のペースで12回、樹木の観察・調査を6回、他館の特別見学会を1回、文化財講座の聴講を1回行った。



前年度末に今後の展開(本講座で進むべき方向性)について話し合いを持ち、その中で i) 調査報告書の作成、ii) 園内樹木の名札付け、iii) 「城山公園 四季の植物」ホームページ開設、iv) 城山公園のガイドブックの作成の4点の意見が出た。これらの意見を受け、前年度に引き続き花ごよみ調査を続けながら、上記4点の実施に向けた取り組みを行った。その中でも特に園内樹木の名札付けに重点をおき、現在の名札の設置状況調査、同園の樹木台帳で未整理区域(樹木の植栽を施さずその土地本来の樹林を活かした区域)の主要樹木分布図と主要樹木目録の作成なども行った。限られた時間の中での作業であり、実際に名札を付ける段階まで至らなかったが、次年度以降も引き続き、実現に向けた作業を進めていきたい。

(担当) 北水

<古文書裏打ちの会>

日 時 平成16年9月18日(土)、10月16日(土)、12月18日(土)、
平成17年1月15日(土)、2月19日(土)、3月16日(土)

場 所 当館研修室

講 師 鶴岡レイ子氏、後藤ひろ子氏、中村ふち氏、吉原悦子氏

参加者 延79人

(内容) 裏打ちの技術を学びながら、郷土資料館で所蔵する古文書の裏打ちを行なうワークショップである。本講座は、平成11年度に設立し、平成16年度まで活動を継続してきた「民俗に親しむ会」の参加者の発案によって進められたものであり、分野は異なるものの、博物館資料の整理という、ボランティア的な性格をもった活動として位置付けている。したがって、本講座も単年度の活動ではなく、経年的に参加していただくことを条件としている。募集については、往復ハガキによる申し込みとした。



「民俗に親しむ会」の有志を基盤として、新たに10

名の参加者を募集したところ、定員の2倍にあたる20名の応募があった。厳正な抽選のもとで10名を選抜し、有志4名と併せて14名で発足した。なお、今後、退会者が出た場合に追加会員を募集する予定である。また、技術指導については、平塚市博物館の「裏打ちの会」で活動されている4名の方にボランティア講師としてお願いした。

(担当) 佐川

<海の教室>

日 時 ①平成16年12月19日(日) ②平成17年3月6日(日)

場 所 大磯町内、当館研修室

参加者 28人

(内容) 平成12年度から継続している講座で、地域博物館の可能性を求め、分野にこだわらずに生の地域資料を利用しながら新しい学問領域の提示を念頭におくことを目的としている。「海」をメインテーマに、長いスパンで継ぎの取り組み。海を知るためには解ばかりをみていたのでは十分でないことを認識しながら、海という素材に対して可能な限りさまざまな視点からアプローチしようという試みである。本年度は漂着物を使ったキャンドルづくりを1回、ビーチコーミングを1回実施した。

① 漂着物を使ったキャンドルづくり(場所/郷土資料館研修室、参加者/22人)

講師/美甘麻里子氏

② ビーチコーミング(場所/大磯照ヶ崎海岸、参加者/6人)

キャンドルづくりは、貝、ビーチグラス、流木などの漂着物を使って、クリスマスキャンドルを作ろうというものである。平成15年度に初めて実施したが、たいへん好評につき、引き続いて今年度も企画した。材料の準備や作業場所の制約から、20人の申し込み制としたが、申し込み開始日即日に満員となった。なお、申し込み者全員への参加があった。小学校3年生以下の子どもたちには保護者の同伴をお願いしたこともあり、親子の参加が目立った。



(担当) 佐川、北水

<「布と着物」展ギャラリートーク>

日 時 平成16年4月4日(日)・10日(土)・11日(日)

会 場 企画展示室

講 師 鶴岡レイ子氏、北谷澄子氏、中村知子氏、西山綾子氏、新見由美子氏、平田浩子氏、

藤田輝子氏、渡辺富子氏、渡辺京子氏(以上「民俗に親しむ会」)

(内容) 「民俗に親しむ会」活動の一環として、企画展「布と着物―縫う・繕う・着る・装う・楽しむ」の関連事業に位置付けて行なった。平成15年度の事業であるが、年度をまたいで実施したものである。詳細は平成15年度の年報において報告しているので参照願いたい。

(担当) 佐川

<「灯」展ギャラリートーク>

日 時 平成16年5月5日(祝)・9日(日)、7月18日(日)・25日(日)

会 場 企画展示室

講 師 江戸民具街道館長 秋澤達雄氏、同学芸員 秋澤理香氏

(内容) 江戸民具街道との共催展「灯」の関連事業の一環として、江戸民具街道館長ならびに同学芸員

によるギャラリートークを行なった。内容は展示資料の解説をはじめ、一部の灯火具の実演などである。特に、企画展示室の照明をおとし、乗扇や手燭などの灯火の明るさ(暗さ)を体感してもらうというプログラムを用意したため、子どもだけでなく、大人にも概ね好評であった。なお、定期的な時間を決めて実施するのではなく、展示室内の参観者の状況をみながら、必要に応じて随時行なう方法をとった。

1回の解説・実演時間は15分程度で、1日平均9回、4日間で合計36回のギャラリートークを実施した。

(担当) 佐川



<体験講座「木目込み人形作り」>

日 時 平成17年3月13日(日)

会 場 当館研修室

講 師 久月人形学院 今野博氏、伊藤典子氏

参加者 16人

(内容) 東京家政学院生活文化博物館との共催展「日本人形の姿と形―節句飾りを絵解きする―」

の関連事業として開催した。共催展において特別協力をいただいている久月人形学院のご協力を得て、

木目込み人形作りを実施することで、日本の伝統文化や技術について興味を抱いてもらう契機となることを期待した。募集は電話にて先着20名とした。

初心者用の教材としたため、対象年齢に制限は設け

なかったが、小学校低学年の場合は保護者同伴とした。なお、参加者からは材料費の一部を負担して

いただいた。ところで、この企画は共催の東京家政学院生活文化博物館会場においても既に先行して実施

していたため、あらかじめ参加者の作業状況を見聞することができた。初心者用の教材を使用したもの、

完成までにかかりの時間を要していたため、当館では教材を再検討するとともに、作業時間の

配分を考慮して13時~16時を確保した。それにより、各人の作業進行具合には若干の差がでたものの、

概ね時間内に完成させることができた。

(担当) 佐川



■刊行物

<図録、冊子>

- ・『Report—大磯町郷土資料館だより』25 B5版 8頁 800部 (平成16年11月刊)
- ・『日本人形の姿と形—節句飾りを絵解きする—』(共催展・大磯分) A4版 9頁 700部 (平成16年2月刊)
- ・『年報—平成15年度—』 A4版 40頁 500部 (平成17年3月刊)
- ・資料館資料9『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料—食—』 A4版 40頁 500部 (平成17年3月刊)

<チラシ、パンフレット>

- ・共催展パンフレット『灯』 A4版 — 4,000部 (平成16年5月刊)
- ・企画展チラシ『大磯 高麗山の植物』 A4版 — 2,000部 (平成16年10月刊)
- ・企画展チラシ『合併50周年記念写真展』 A4版 — 3,000部 (平成16年11月刊)
- ・共催展チラシ『日本人形の姿と形—節句飾りを絵解きする—』(共催展・大磯分) A4版 — 4,000部 (平成17年2月刊)

<その他>

- ・講座通信『草と木の調査』 A4版 4~8頁 コピー対応 (年間・随時)
- ・講座通信『民俗に親しむ会』No55 A4版 6頁 コピー対応 (平成16年5月刊)
- ・常設展リーフレット『別荘のある風景』 A4版 4頁 2,000部 (平成16年10月刊)

■調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外 (佐川、國見、北水)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館 (武藤)
- ・神奈川県博物館協会合同部会、編集委員会、研修会出席/年間/神奈川県立歴史博物館ほか (北水)
- ・神奈川県博物館協会50周年記念事業実行委員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館ほか (國見)
- ・東京家政学院博物館実習講義/年間/東京家政学院 (佐川)
- ・駒澤大学博物館実習講義/年間/駒澤大学 (國見)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」講義/4月20日、5月11日、6月2日、7月2日・27日、9月3日、10月6日、11月2日、12月3日、平成17年1月14日、2月2日、3月4日/教育研究所ほか (北水)
- ・日本民具学会理事会出席/4月25日、8月1日、10月10日/成城大学 (佐川)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導/5月2日・30日、7月11日、9月19日、平成17年3月5日/大磯町内 (北水)
- ・相模民俗学会出席/5月16日、11月21日、平成17年1月16日/神奈川県立歴史博物館 (佐川)
- ・大磯町新採用職員研修会講義/5月19日/館内 (武藤、佐川)
- ・日本考古学協会総会出席/5月22日・23日/千葉大学 (國見)
- ・桜美林大学博物館学講座見学実習講義/5月29日/館内 (國見)
- ・国府学童保育会「開校記念日スペシャルイベント」指導/6月4日/岩田記念館ほか (佐川、北水)
- ・近代国際陶磁研究会出席/6月6日/愛知県陶磁資料館 (國見)
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習講義/6月15日/国府小学校 (佐川)
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習講義/6月23日/館内 (佐川、北水)
- ・駒澤大学博物館学講座見学実習講義/6月27日/館内 (國見)
- ・境川流域歴史民俗共同調査/7月3日/相模原市立博物館 (佐川)
- ・神奈川県立歴史民俗学講座見学実習講義/7月10日/館内 (佐川)
- ・相模民俗学会見学会案内/7月18日/大磯町内、館内 (佐川)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導/8月20日/照ヶ崎海岸 (北水)
- ・生涯学習課「ファミリー教室」講義/10月13日/大磯町保健センター (佐川)
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科講義/10月29日/国府小学校 (佐川)

- ・生涯学習課「ガイドボランティア養成講座」講義／11月5日・12日、12月3日／館内、大磯町生涯学習館（北水、佐川、國見）
- ・生涯学習課「自然体験教室 冬」講義／12月4日／大磯町生涯学習館（北水）
- ・九州近世陶磁学会出席／2月11日・12日・13日／佐賀県立九州陶磁文化館（國見）
- ・神奈川県民俗芸能緊急調査／2月13日・20日／山北町ほか（佐川）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習／2月18日／大磯小学校（北水）
- ・東海大学博物館実習講義／2月18日・21日・22日／東海大学（佐川）
- ・関東民具研究会出席／2月20日／神奈川県立歴史博物館（佐川）

<施設・展示解説>

- ・月京自治会／4月25日／40人（國見）
- ・大磯町学校職員新採用研修会／5月18日／5人（佐川）
- ・大磯町広報子ども編集委員／5月30日／6人（佐川）
- ・日経旅行ツアー／5月30日／35人（佐川）
- ・照明文化研究会／6月22日／20人（佐川）
- ・大磯町立国府小学校6年3組／6月23日／5人（國見）
- ・県政モニターOB会／7月30日／30人（佐川）
- ・真鶴町教員新採用研修会／8月17日／2人（北水）
- ・NHK文化センター静岡教室／8月20日／20人（北水）
- ・大井町文化財保護委員会／8月24日／7人（武藤、北水）
- ・足柄史談会／9月28日／45人（佐川）
- ・まきば幼稚園／10月6日／30人（佐川）
- ・生沢自治会／10月17日／57人（國見）
- ・大磯町立大磯小学校2年生／10月27日／135人（北水）
- ・日経旅行ツアー／10月29日／25人（佐川）
- ・文教歴史散歩宮村会／11月11日／25人（佐川）
- ・神奈川県立歴史博物館ボランティアグループ／11月21日／10人（北水）
- ・悠々会／12月8日／30人（佐川）
- ・二宮町久松氏ほか／12月14日／4人（佐川）
- ・小田原市「郷土文化館移転問題研究会」／12月15日／5人（武藤、佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年4組／平成17年1月14日／35人（國見）
- ・二宮町久松氏ほか／1月25日／5人（北水）
- ・小諸市教職員研修／2月2日／2人（國見）
- ・逗子歴史散歩／3月11日／30人（佐川）
- ・大磯町社会教育委員会研修／3月18日／5人（佐川）

<執筆>

佐川和裕

2004. 5. 『民俗に親しむ会 Information』No55 大磯町郷土資料館
8. 「ものを遣（のこ）す」『山北町史編集だより』第8号 山北町史編さん班
10. 『日本人形の姿と形一節句飾りを絵解きする』特別展図録（分担執筆）東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館
11. 「アカウミガメの産卵と孵化についての覚え書き」『Report 大磯町郷土資料館だより』25 大磯町郷土資料館
2005. 2. 「これからの相模民俗学会」『民俗』第190・191号 相模民俗学会
3. 「衣類整理と「布と着物」展～ワークショップ参加者との協働作業を通じて～」『民具マンスリー』第37巻12号 神奈川県立日本常民文化研究所
3. 「資料館と業務評価、人事評価」『年報一平成15年度一』大磯町郷土資料館
3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料一食一』（共著）資料館資料9 大

磯町郷土資料館

3. 「平成16年度博物館実習「展示実習」報告」(分担執筆)『東京家政学院生活文化博物館年報』第15号 東京家政学院生活文化博物館
3. 「展示批評<東京家政大学博物館特別企画展「一枚布の民族展示」>」『民具研究』第131号 日本民具学会

園児 徹

2004. 8. 新刊紹介「木村衡著『古代民衆寺院史への視点』」『地方史研究』310 地方史研究協議会
11. 『合併50周年記念写真展』企画展リーフレット 大磯町郷土資料館

北水慶一

2004. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12./2005. 1. 2. 3.
『草と木の調査だより』No.04—01~12 大磯町郷土資料館
2005. 3. 「大磯町におけるウミガメ漂着の近況」『大磯町史研究』第12号 大磯町
3. 「草と木の調査「城山公園の植物」の活動報告」『年報—平成15年度—』大磯町郷土資料館
3. 「高齢者の博物館利用」ほか『神奈川県博物館協会会報』第76号 神奈川県博物館協会

加藤廣美

2005. 3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料—食—』(共著)資料館資料9 大磯町郷土資料館

■博物館実習

博物館実習

平成16年度の博物館実習は3大学より3名の学生を受け入れた。実習期間は9月28日から10月9日の間(10月3日・4日を除く)及び9月7日(事前ガイダンス)、10月22日(課題等提出)の計12日間であった。

実習の内容については、例年どおり実習期間の前後半で分け、前半は考古、民俗、自然の分野別の作業や梱包、軸物の取り扱い等の実務作業を行い、後半は常設展示室の展示替えを行った。展示替えは実習生が主体となり、企画立案から展示完成までを行う作業であり、本年度は「別荘のある風景」のタイトルで作業を進めた。

大磯町は明治から昭和にかけて別荘地として栄えた。当町に別荘を設けた著名人のうち数名を取り上げ、別荘の外観写真、位置図、緑の品々などを展示した。初めて経験する作業に苦慮する姿が見られたものの、実習生全員が真摯に作業に臨み、展示は無事完成した。実習期間中に展示にあわせてB5版4頁のリーフレットを作成した。近年、歴史的建造物保存・活用に関する問題が多く関心を寄せていることもあり、リーフレットは好評を得ている。

<実習生>

市川未津紀(駒澤大学)、佐藤まり江(国士館大学)、森 幸子(東海大学)



<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
9月7日	火		ガイダンス
9月28日	火	講義（資料館の活動概要）	町内施設見学
9月29日	水	共催展資料搬出作業見学 ／歴史資料整理（写真の焼付け）	歴史資料整理
9月30日	木	自然史資料整理（記録写真の整理）	自然史資料整理 ／展示替実習（展示構想打ち合わせ）
10月1日	金	民具整理（漁船クリーニング） ／自然史調査（ストランディング調査）	民具整理（漁船クリーニング） ／展示替実習（展示構想打ち合わせ）
10月2日	土	講義（資料の取扱いと梱包） ／資料梱包実習	資料梱包実習／軸物・箱物の取扱い ／展示替実習（展示構想打ち合わせ）
10月3日	日	休 講	
10月4日	月	休 講	
10月5日	火	展示替実習（展示構想打ち合わせ、旧展示片付け、資料調査）	
10月6日	水	展示替実習（資料調査、原稿作成）	
10月7日	木	展示替実習（原稿作成、キャプション作成）	
10月8日	金	展示替実習（原稿作成、キャプション作成・資料展示・リーフレット編集）	
10月9日	土	展示替実習（資料展示、片付け）	休講（台風のため）
10月22日	金	展示替実習（パネル作成、リーフレット編集、資料展示、片付け、記録作成、展示点検、課題提出、総括）	

（担当）北水、國見、佐川

(資料の特別利用)

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
尖頭器	1	発表(館内)	H16. 4. 6	個人	土器	1	複写撮影/ 研究発表	H16. 11. 23	個人
館内展示	—	撮影/ 刊行物掲載	H16. 5. 14	個人	写真	2	撮影/ 刊行物掲載	H16. 11. 30	個人
絵はがき	6	撮影/ 刊行物掲載	H16. 5. 20	湘南スタイル	写真	2	撮影/ ホームページ	H16. 12. 9	個人
館内展示	—	撮影/放映	H16. 5. 28	JA神奈川県 広報局	サルンボ	—	撮影/ 刊行物掲載	H16. 12. 17	(有)メデイ アート
ビデオテープ	2	ダビング/ 放映	H16. 6. 8	恒道園	絵はがき	1	撮影/放映	H16. 12. 18	湘南ケーブル ネットワーク機
写真	1	複写/ 刊行物掲載	H16. 6. 10	神奈川県 博物館協会	図録	1	撮影/ ホームページ	H16. 12. 28	個人
写真	28	複写/ 刊行物掲載	H16. 6. 22	大磯町立図 書館	写真	1	撮影/ 刊行物掲載	H17. 1. 19	大磯町 経済観光課
写真	6	撮影/放映	H16. 7. 6	髙TOP シーン	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 1. 27	個人
写真	1	複写/掲載	H16. 7. 14	藤沢市 教育委員会	報告書	1	閲覧/研究	H17. 2. 4	個人
館内展示	—	撮影/資料	H16. 7. 17	個人	館内展示	—	撮影/研究	H17. 2. 5	個人
写真	—	複写/ 刊行物掲載	H16. 8. 4	東京家政学院大学 生活文化博物館	ビデオテープ	2	ダビング/ 放映	H17. 2. 6	髙アルファ 映像
絵はがき	18	撮影/放映	H16. 9. 17	毎日映画社	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 11	個人
館内展示	—	撮影/ 研究発表	H16. 9. 28	個人	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 12	個人
館内展示	—	撮影/ 研究発表	H16. 9. 28	個人	写真	5	撮影/ 刊行物掲載	H17. 2. 16	神奈川県 広報県民課
館内展示	—	撮影/記念	H16. 9. 28	個人	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 20	個人
建物外観	—	撮影/ 参考資料	H16. 10. 17	個人	絵はがき	1	撮影/ 刊行物掲載	H17. 2. 20	髙小学館
館内展示	—	撮影/ 参考資料	H16. 10. 24	個人	サルンボ	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 22	個人
絵はがき	7	複写/ 刊行物掲載	H16. 10. 31	個人	絵はがき	1	撮影/ ホームページ	H17. 3. 8	個人
箱船	1	撮影/研究	H16. 11. 5	個人	ポスター 他	5	撮影/放映	H17. 3. 26	髙テレビ神 奈川

(資料の館外貸出)

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
写真 他	2	展示	H16. 4. 15 ～ 4. 30	俣かまくら 春秋社	写真	15	広報紙掲 載	H16. 10. 26 ～ 11. 16	大磯町 企画室
写真	1	議会だより 掲載	H16. 4. 20 ～ 4. 26	大磯町 議会事務局	考古資料	12	講座資料	H16. 10. 28 ～ 10. 29	大磯町 生涯学習館
写真	3	番組制作	H16. 5. 13 ～ 6. 1	藤沢市 まちづくり協会	衣類 他	13	展示	H16. 10. 29 ～ 10. 31	個人
脇差 他	2	刀の研磨	H16. 5. 15 ～ 10. 11	西小磯西区	土質標本 他	4	授業	H16. 11. 10 ～ 11. 30	大磯町 学校教育課
写真	10	刊行物掲載	H16. 5. 20 ～ 7. 13	個人	脇差	1	祭礼	H16. 11. 23 ～ 11. 23	西小磯東区
松本順像 他	1 1	展示	H16. 5. 20 ～ 10. 9	熊本市現代 美術館	写真	6	冊子掲載	H16. 11. 30 ～ 12. 19	個人
写真	5	展示	H16. 6. 7 ～ 6. 10	日本郷土玩 具博物館	写真	1	展示	H16. 12. 10 ～ 12. 25	平塚市博物 館
写真	1	ハンドブック 掲載	H16. 6. 10 ～ 6. 30	神奈川県 博物館協会	古文書	一括	町史編纂	H16. 12. 23 ～ H17. 1. 21	大磯町立図 書館
調査報告書	2	調査資料	H16. 6. 23 ～ 7. 8	大磯町 防災対策担当	写真	9	紙面掲載	H16. 12. 24 ～ H17. 1. 10	日本経済新聞
絵はがき	1	議会だより 掲載	H16. 7. 7 ～ 7. 9	大磯町 議会事務局	絵はがき	2	議会だより 掲載	H17. 1. 12 ～ 1. 26	大磯町 議会事務局
スライド	10	チラシ掲載	H16. 7. 15 ～ 7. 30	読広アドク レス	写真	1	パンフレット 掲載	H17. 1. 19 ～ 3. 25	大磯町 経済観光課
ビデオテープ	1	講座	H16. 7. 29 ～ 8. 7	平塚市博物 館	ビデオテープ	2	教材	H17. 2. 6 ～ 2. 25	㈱アルファ 映像
図書	1	研究資料	H16. 8. 14 ～ 8. 25	個人	基本設計書 他	4	参考資料	H17. 2. 15 ～ 3. 10	愛川町 教育委員会
図書 他	4	参考資料	H16. 8. 17 ～ 8. 31	個人	写真	5	刊行物掲載	H17. 2. 16 ～ 3. 20	神奈川県 広報県民課
写真	3	刊行物掲載	H16. 9. 15 ～ 9. 30	(有) ケイ・ アソシエーション	写真	1	刊行物掲載	H17. 2. 23 ～ 3. 18	藤沢市 教育委員会
写真	2	放映	H16. 9. 16 ～ 9. 17	毎日映画社	考古資料 馬場18地点	26	町史編纂	H17. 2. 27 ～ 3. 18	大磯町立図 書館
書簡	1	展示および 図録掲載	H16. 9. 22 ～ 11. 20	かごしま 近代文学館	考古資料 馬場36地点	17	町史編纂	H17. 2. 27 ～ 3. 18	大磯町立図 書館
写真 他	4	紙面掲載	H16. 9. 25 ～ 9. 30	㈱タウン ニュース社	考古資料 馬場37地点	9	町史編纂	H17. 2. 27 ～ 3. 18	大磯町立図 書館
写真 他	一括	展示	H16. 9. 29 ～ 11. 17	東京家政学院大学 生活文化博物館	軸物 他	一括	祭礼	H17. 3. 5 ～ 3. 6	西小磯西区
写真	1	議会だより 掲載	H16. 10. 10 ～ 10. 20	大磯町 議会事務局	写真	15	パネル作成	H17. 3. 10 ～ 3. 13	個人
図録	1	研究資料	H16. 10. 21 ～ 10. 31	個人	考古資料	29	町史編纂	H17. 3. 11 ～ 4. 28	大磯町立図 書館

■博物館資料の収集と利用

(寄贈資料)

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0424	H16. 4. 6	掛図	15	湯口正毅 大磯町寺坂	0805	H16. 8. 27	蜂の巣	1	木村純子 大磯町大磯
0425	H16. 4. 3	磁器	1	安藤次郎 平塚市東真土	0902	H16. 9. 15	時計 他	3	尾崎芳治 大磯町大磯
0426	H16. 4. 7	パソコン 他	4	渡邊恵子 大磯町東町	0903	H16. 9. 16	書籍	40	荒巻昌宏 平塚市高村
0427	H16. 4. 14	マクラ 他	3	尾崎三郎 大磯町大磯	0905	H16. 9. 16	タイマイ(剥製)	1	鈴木孝明 大磯町西小磯
0428	H16. 4. 15	イシウス 他	2	飯田政尚 大磯町大磯	1001	H16. 10. 19	松本順像	1	野村榮一 東京都世田谷区
0429	H16. 4. 15	ハタキ	1	新見由美子 大磯町東小磯	1101	H16. 11. 5	古文書 他	一括	加藤廣美 大磯町国府本部
0430	H16. 4. 16	エモンカケ	10	渡邊恵子 大磯町東町	1102	H16. 11. 5	ツリバリ 他	一括	西山敏夫 二宮町山西
0501	H16. 5. 7	ハオリ 他	19	宮崎吾有子 大磯町西小磯	1103	H16. 11. 5	アキナイバコ 他	10	宮代伊佐雄 大磯町大磯
0502	H16. 5. 7	ヘラ台 他	一括	加藤廣美 大磯町国府本部	1104	H16. 11. 18	墨彩 「左義長(2003年)」	1	佐野クミ子 横浜市神奈川区
0503	H16. 5. 19	マキハダ 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	1105	H16. 11. 24	ランタンヒバチ 他	4	鈴木勝一 大磯町大磯
0505	H16. 5. 1	祝い着	2	栗原平太郎 大磯町東小磯	1106	H16. 11. 26	昆虫標本 他	一括	木村純子 大磯町西小磯
0506	H16. 5. 1	ドンゴロス 他	2	西山縫子 大磯町石神台	1107	H16. 11. 28	写真 他	19	鈴木 昇 大磯町西小磯
0601	H16. 6. 1	木目込み人形 他	32	中村 進 大磯町東小磯	1201	H16. 12. 11	サーベル	1	野村榮一 東京都世田谷区
0603	H16. 6. 4	ヒバシ 他	5	尾崎芳治 大磯町大磯	1202	H16. 12. 18	小田原提灯 他	3	新見由美子 大磯町東小磯
0606	H16. 6. 10	衣類の雛型 他	一括	角田芳明 横浜市緑区	0101	H17. 1. 5	平瓦(破片) 他	5	飯田福信 大磯町大磯
0701	H16. 7. 9	書籍 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	0102	H17. 1. 20	古文書 他	一括	石塚アヤ子 二宮町二宮
0801	H16. 8. 8	ハンテン 他	3	今井ミヨ子 大磯町国府新宿	0201	H17. 2. 23	ソロバン 他	3	宮代伊佐雄 大磯町大磯
0802	H16. 8. 8	絵はがき	一括	飯田善雄 大磯町大磯	0301	H17. 3. 6	的(白岩神社祭礼用)	1	西小磯(東西)区
0803	H16. 8. 11	陶磁器	一括	安藤次郎 平塚市東真土	0303	H17. 3. 11	写真	一括	(故)日野一郎 平塚市
0804	H16. 8. 11	土器・石器	一括	飯田善雄 大磯町大磯					

(寄託資料)

(敬称略、寄託期間:H16. 4. 1~H18. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0401	H16. 4. 1	雛人形	一式	田川順三 横浜市緑区	0413	H16. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区
0402	H16. 4. 1	高札	3	坂井保治 大磯町黒岩	0414	H16. 4. 1	獅子頭	2 (一対)	裡道区
0403	H16. 4. 1	一本松稲荷講中 資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯	0415	H16. 4. 1	書籍 他	一括	飯島容子 横浜市中区
0404	H16. 4. 1	菊池重三郎関係 資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0416	H16. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
0405	H16. 4. 1	クロッカスガーデン 看板	1	添田光雄 大磯町国府本部	0417	H16. 4. 1	古文書	一括	近藤敬一郎 東京都新宿区
0406	H16. 4. 1	書(断片)	一括	加藤文八 平塚市諏訪町	0418	H16. 4. 1	書幅	1	二宮勝男 平塚市下吉沢
0407	H16. 4. 1	古文書	一括	後藤 勲 大磯町月京	0419	H16. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社
0408	H16. 4. 1	書籍	2	山川 正 大磯町国府新宿	0420	H16. 4. 1	木造仁王像	2 (一対)	慶覚院
0409	H16. 4. 1	七夕資料 他	一括	西小磯西子ども会	0421	H16. 4. 1	随神 他	3	南本町区
0410	H16. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0422	H16. 4. 1	稲荷講	一括	戸塚 浩 大磯町西小磯
0411	H16. 4. 1	古文書 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0423	H16. 4. 1	古文書	一括	小見滋夫 大磯町西小磯
0412	H16. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区					

(移管資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0431	H16. 4. 22	耐火煉瓦	2	大磯町 福祉課	0702	H16. 7. 9	レコード	52	大磯町 財政課
0504	H16. 5. 26	電話機	1	大磯町 観光案内所	0901	H16. 9. 7	蓄音機 他	2	大磯町環境 美化センター
0602	H16. 6. 3	レコード	19	大磯町環境 美化センター	0302	H17. 3. 3	人骨 他	一括	大磯町役場 都市整備課
0604	H16. 6. 9	投票箱	1	大磯町 選挙管理委員会	0304	H17. 3. 24	瓦	3	大磯町役場 福祉課
0605	H16. 6. 9	カメラ	1	大磯町環境 美化センター					

(購入資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
1002	H16. 10. 20	湘南軌道パンフレット	1	すりもの堂書店 東京都町田市

(寄贈図書一覧)

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月
大磯町	エリザベスサンダースホーム こまたん	『かけはし 第16号』	2004/12
		『アオノトのふしぎ』	2004/04
伊勢原市	伊勢原市教育委員会	『いせはらのむかし 小・中学校社会科歴史読本』	2004/03
寒川町	寒川町企画部企画課	『寒川町史研究 第17号』	2004/03
		『寒川町史研究 第18号』	2005/03
		『寒川町史調査報告書14』	2004/03
		『寒川町史調査報告書15 ～国勢調査と寒川～』	2005/03
		『寒川町史13 別編 事典・年表』	2004/03
		『寒川の文化財』	2002/03
		『寒川町埋蔵文化財調査報告書 第1集 下大曲上/山道跡 ～発掘調査報告書～』	2005/03
		『神奈川県高座郡寒川町 梶原景時館址・塔の塚発掘調査報告書』	2002/03
		『神奈川県高座郡寒川町 小動峠毛道跡 ～埋蔵文化財発掘調査報告書～』	2002/03
		『神奈川県高座郡寒川町 高田道跡 発掘調査報告書 ～第3次調査ほか～』	2002/10
寒川町教育委員会	『倉見才戸道跡 第1次調査』	2004/03	
茅ヶ崎町	茅ヶ崎町文化資料館	『茅ヶ崎 自然の新聞』第242～246, 251, 255～264号	2003-2005
		『文化資料館調査研究報告 12』	2004/03
秦野市	丹沢自然保護協会 秦野市史編さん委員会 秦野市総務部文書法制課 秦野市立板土手古墳展示館	『丹沢だより』№395～399, 404～417	2003-2005
		『秦野市史研究 第23号』	2004/03
		『秦野市 通史5 現代(2)』	2004/12
		『板土手古墳展示館だより』Vol.21, 22	2003-2004
		『研究紀要 第5号』	2004/03
		『秦野の文化財 第40集』	2004/03
平塚市	神奈川県教育庁中教育事務所 東海大学校地内遺跡調査団 平塚市教育委員会 平塚市中央図書館 平塚市博物館 平塚市美術館	『秦野市文化財調査報告書8 秦野の遺跡1』	2004/03
		『社会教育2003 中地区の社会教育』	2003/07
		『東海大学校地内遺跡調査団報告 11-12』	2004/03
		『平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書11 平塚D/田村館跡/稲荷前A/万田』	2004/03
		『平塚市埋蔵文化財シリーズ39 山王久保道跡 ～第11地点～』	2004/03
		『中勝助展』目録	2004/11
		『郷土の出版展』図録	2004/10
		『有島武郎展』図録	2003/05
		『ガイドブック19 ちよつと海まで』	2001/03
		『展示解説ボランティアの会 会報 No.6』	2004/09
		特別展『～掘り起こされた平塚Ⅲ～ 遺跡が語る地域の歴史』図録	2004/09
		特別展『平塚の生きもの地図』図録	2004/07
		『資料叢書4 中原街道抄』	2004/04
		『平塚市博物館研究報告 自然と文化 No.27』	2004/03
		『平塚市博物館年報 No.27』	2004/03
		『市民が探る平塚空襲 資料編(二)』	2004/03
『指先から広がる4つの世界のこころ展 ベトナム+Contemporary Works+民具図録』	2004/07		
『保田龍門・春彦 ～絵画と彫刻～展』図録	2004/10		
『平成14年度 平塚市美術館』	2003/03		
藤沢市	鶴沼郷土資料室 湘南考古学同好会 藤沢市教育委員会 藤沢市文書館	『鶴沼郷土資料室展示だより 創刊号』	2004/03
		『湘南考古学同好会々報 97』	2004/12
		『藤沢市文化財調査報告書 第39集』	2004/03
		『藤沢市文書館 紀要二十六』	2004/03
		『藤沢市史料集(二十八) 伊勢参宮行・道中日記』	2004/03
		『藤沢市史研究 第37号』	2004/03
小田原市	神奈川県立 生命の星・地球博物館 小田原市教育委員会	『自然科学のつひら』35～40号	2003-2005
		『東洋のガラパゴス 小笠原 ～固有生物の魅力とその危機～』図録	2004/07
		特別展『丹沢の自然 ～その生い立ちと生きもの～』図録	2003/11
		企画展『+2℃の世界』図録	2004/12
		『神奈川県自然誌資料 第24号』	2003/03
		『神奈川県自然誌資料 第25号』	2004/03
		『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学32号』	2003/03
		『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学33号』	2004/03
		『神奈川県立博物館 調査研究報告 自然科学12号 小笠原における昆虫相の変遷』	2004/03
		『神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第9号 (2003年度)』	2004/09
		『小田原市郷土文化館研究報告 No.39 (人文科学 No.20)』	2003/03
『小田原市郷土文化館研究報告 No.40 (自然科学 No.20)』	2004/03		
『平成15年 小田原市遺跡調査発表会 発表要旨』	2003/11		

	小田原市郷土文化館	特別展『肖像画展 ～小田原を彩った顔～』図録	2003/11
	小田原城天守閣	特別展『武者の姿 ～浮世絵の中の武者～』図録	2003/11
		特別展『瓦は語る ～一夜城と小田原城～』図録	2004/10
	日本道路公団	『J』おだわらNEWS 第18号	2004/03
箱根町	箱根町立郷土資料館	企画展『七湯の枝折』図録	2004/09
		『箱根町立郷土資料館 館報 第20号』	2003/12
		『箱根町立郷土資料館 館報 第21号』	2004/09
真鶴町	中川一政美術館	『美術館だより 第11号』	2003/03
南足柄市	足柄史談会	『史談足柄 第42集』	2004/04
山北町	山北町教育委員会	『足柄の文化 第31号』	2004/03
		『山北町史 編集だより 第8号』	2004
横浜市	神奈川県企画展民部	『三浦半島 ～近代の記憶 そして未来～』	2005/03
	神奈川県教育委員会	『神奈川県埋蔵文化財調査報告 46』	2004/03
		『かながわの民俗芸能』第65～68号	2001-2004
		『歴史とふれあい 現代に活かすために』	2003
		『埋蔵文化財関係統計資料』	2004/12
	神奈川県議会	『議会 かながわ』No.96, 97	2004
	神奈川県博物館協会	『神奈川県博物館協会会報 第75号』	2004/03
		『NETWORK』第24, 25号	2003-2004
		『平成16年度 東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会東海支部 理事会・総会資料』	2004/07
	神奈川県福祉部	『カラーハワイアプリー 色使いのガイドライン』	2004/03
	神奈川県立公文書館	『神奈川県立公文書館だより 第9号』	2003/03
		企画展『戦国時代の神奈川県 ～北条五代文書展～』図録	2004/01
		『神奈川県立古文書資料所在目録 第23集』	2001/03
	神奈川県立図書館	『地域資料目録・主題別シリーズ8 箱根関係文獻目録』	2004/03
		『郷土神奈川県 第42号』	2004/03
		『郷土神奈川県 第43号』	2005/02
	神奈川県近代文学館	『神奈川県近代文学館』第80号	2003
		『神奈川県近代文学館 年報 2003年(平成15年)度』	2004/06
	神奈川県立歴史博物館	『神奈川県立歴史博物館だより』164～167号	2003-2004
		特別展『浮世絵 江戸名所七変化 丹波コレクションの魅力』図録	2004/02
		特別展『重要文化財 ～かながわ考古展～』図録	2004/07
		特別展『重要文化財 ～かながわ考古展～』図録	2003/10
		『神奈川県立歴史博物館 年報 平成14年度』	2003/12
		『神奈川県立歴史博物館 年報 平成15年度』	2004/07
		『神奈川県立博物館研究報告 ～人文科学～ 第30号』	2004/03
	神奈川県立歴史民俗資料館 (財)かながわ考古学財団	特別展『湘南の古刹 ～神武寺の遺宝～』図録	2004/10
		『かながわ考古学財団調査報告156 真言院北やぐら群』	2003/03
		『かながわ考古学財団調査報告159 平六ヶ入やぐら群』	2003/12
		『かながわ考古学財団調査報告160 金田仙神やぐら群』	2003/12
		『かながわ考古学財団調査報告162 大倉郡府北やぐら群』	2004/02
		『かながわ考古学財団調査報告164 由比が浜南遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告165 池端・榎山遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告167 用田大河内遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告168 用田南原遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告169 六浦大道遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告170 宮山中里遺跡/宮山畑遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告171 山ノ神遺跡・鷹見塚遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告172 関口またやぐら群』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告173 正禰寺やぐら群』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告174 長勝寺跡内やぐら群Ⅱ』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告175 篠原大原遺跡』	2004/09
		『かながわ考古学財団調査報告176 薬王寺やぐら群』	2004/12
		『かながわ考古学財団調査報告177 正観寺やぐら群』	2004/09
		『かながわ考古学財団調査報告176 風間北遺跡・風間遺跡』	2005/01
		『かながわ考古学財団調査報告179 紅葉ヶ丘遺跡』	2005/02
		『かながわ考古学財団調査報告180 用田南原遺跡Ⅱ』	2005/02
		『かながわ考古学財団調査報告181 西御門東やぐら群』	2005/01
		『かながわ考古学財団調査報告182 山王堂東谷やぐら群Ⅲ』	2005/02
		『かながわ考古学財団調査報告183 旗立山やぐら群』	2005/01
		『かながわ考古学財団調査報告184 山王堂東谷やぐら群Ⅳ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告185 用田鳥居前遺跡Ⅱ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告186 山王堂東谷やぐら群Ⅴ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告187 西御門東やぐら群Ⅱ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告188 矢作第2やぐら群』	2005/03
		『年報11 平成15年度』	2004/11

	『研究紀要10 神奈川の考古学』	2005/02
(財)神奈川県町村振興協会	『自治展望』第16～48号	2004-2005
(財)横浜市ふるさと歴史財団	『空間中央公園遺跡発掘調査報告書』	2003/12
	『理文よこはま』6～8	2003-2004
	『西見谷遺跡発掘調査報告』	2004/03
	『泉警察遺跡発掘調査報告2』	2004/03
	『杉田東漸寺貝塚発掘調査報告』	2004/03
	『川中村A遺跡 発掘調査報告』	2004/11
	『財団法人横浜ふるさと歴史財団 年報 平成14年度』	2003/12
	『財団法人横浜ふるさと歴史財団 年報 平成15年度』	2004/12
馬の博物館	『馬の博物館だより No.41』	2004/09
	特別展『馬と人を結ぶもの ～鞍の世界～』図録	2004/09
神奈川大学日本常民文化研究所	『常民研news No.25』	2004
	『民具マンスリー 第37巻12号』	2005/03
神奈川地域史研究会	『神奈川地域史研究会 会報』第71～74号	2003-2004
	『神奈川地域史研究 第22号』	2004/03
関東学院大学	『KGU Message 2005 関東学院大学』	2005/05
関東学院大学文学部	『2003年度秋学期 ゼミナール』論集「大磯の左義長」	2004/04
シルク博物館	『消えゆく美装用語』	2004/03
玉川文化財研究所	『神奈川県綾瀬市 山王塚遺跡 発掘調査報告書』	2003/11
	『川崎市麻生区 細山向原遺跡 1地点発掘調査報告書』	2003/11
	『横浜市緑区 第2地点発掘調査報告書』	2003/11
	『神奈川県厚木市 妻田白根遺跡 第7地点 発掘調査報告書』	2003/12
	『神奈川県伊勢原市 東大竹上谷戸遺跡 第II地点 発掘調査報告書』	2003/12
	『神奈川県小田原市 小八幡東塚遺跡 第I地点 発掘調査報告書』	2003/12
	『神奈川県東甲郡愛川町 臼谷谷遺跡 発掘調査報告書』	2004/01
	『神奈川県伊勢原市 沼目吹上遺跡 発掘調査報告書』	2004/06
	『神奈川県伊勢原市 東大竹下原遺跡 第2地点』	2004/06
	『神奈川県川崎市高津区 津田山-9遺跡 発掘調査報告書』	2004/07
寺家ふるさと村「四季の家」	『はなあふ通信』5,10月号/2003, 8,11月号/2004, 2月号/2005	2003-2005
ニュースパーク(日本新聞博物館)	『NIEニュース/ニュースパークたより』第35～38号/No.21～24	2004-2005
横浜市教育委員会	『横浜市文化財地図』	2004/03
	『港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告書35 高山遺跡』	2004/03
	『平成14年度 文化財年報(埋蔵文化財 その21)』	2004/03
	『横浜の文化財 ～横浜市文化財総合調査概報(十七)～』	2005/03
	『平成15年度 文化財年報(埋蔵文化財 その22)』	2005/03
横浜市緑政局	『横浜市動物園年報 平成15年度』	2004/10
横浜市歴史博物館	企画展『古代を考えるIII 文字との出会い ～南武蔵・相模の地域社会と文字～』図録	2003/05
	特別展『鎌倉御家人 平子氏の西遷・北遷』図録	2003/10
	収蔵資料展『ペリー来航と東京湾』図録	2003/07
	『古代日本 文字のある風景 ～金印から正倉院文書まで～』図録	2002/03
	『製造元祖 横浜 風琴 洋琴ものがたり』図録	2004/01
	『武州金沢藩(六浦藩)関係資料集I』	2003/08
	『横浜市歴史博物館 紀要 Vol.7』	2003/03
	『横浜市歴史博物館資料目録 第11集』	2003/03
	『横浜市歴史博物館資料目録 第12集』	2004/03
横浜人形の家	『横浜人形の家 イベントニュース』5～8/2003, 1～2, 4～6, 8～12/2004, 1～4/2005	2003-2005
横浜ユーラシア文化館	『News from EurAsia 横浜ユーラシア文化館ニュース No.1』	2004
川崎市教育委員会	『川崎市 文化財調査集録 38』	2003/03
	『川崎市 文化財調査集録 39』	2003/04
川崎市市民ミュージアム	『museum news Vol.68』	2003
	企画展『日本の幻獣 ～未確認生物出現録』図録	2004/07
	『川崎市市民ミュージアム 紀要 第16集』	2004/03
	『川崎の民間信仰』	2004/03
川崎市立日本民家園	『日本民家園収蔵品目録1 田船越の舞台』	2003/10
	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』	2004/07
	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・東影山祠堂』	2005/01
	『神奈川県川崎市 万福寺遺跡群』	2005/02
鎌倉市	『武家の古都 鎌倉 世界遺産への登録をめざして』	2004/09
鎌倉市世界遺産登録推進担当	『鶴岡No.93, 94, 96, 98～100』	2003
鎌倉八幡宮社務所	『星野立子 ～天才少女のスローライフ』図録	2004/10
鎌倉文学館	企画展『立原正秋 ～美と伝統を求めて～』図録	2004/04
	『自然観察』No.260～263, 268～270, 272～283	2003-2005
グリーンタフ事務局	『平成14年度 三浦市文化財 海跡洞六遺跡の世界 ～海辺の遺跡, 台地の遺跡～』図録	2002/11
三浦市	『三浦市文化財 第19集 三浦市文化財マップ 三浦探訪』	2002/11
横須賀市	『横須賀美術館準備ニュース Vol.1』	2004

	横須賀市自然・人文博物館	特別展示『ホテル点滅の不思議 ～地の奇跡～』図録 『横須賀市博物館報 第50号』 『横須賀市博物館資料集 第28号』 『横須賀市博物館研究報告(人文科学) 第48号』 『横須賀市博物館研究報告(自然科学) 第51号』	2004/07 2004/03 2004/03 2004/03 2004/03
逗子市	逗子市教育委員会	『神奈川県逗子市埋蔵文化財発掘調査報告書 埋蔵文化財発掘調査報告書平成13～14年度』 『神奈川県逗子市埋蔵文化財発掘調査報告書4 史跡名越切通確認調査報告』 『国指定史跡名越切通 崩落対策検討報告書』 『シンポジウム 前期古墳を考える ～長柄・板山の地から～ 国史跡指定記念講演会 未来に活かす史跡整備を考える』	2004/03 2004/03 2004/03 2004/03
梁山町	神奈川県立近代美術館 梁山しおさい博物館	『神奈川県立近代美術館 新館準備ニュース 2号』 『潮騒だより №15』 『潮騒ガイドブック③ 海洋生物図鑑(1) カニ類』	2003/04 2004/03 2004/03
厚木市	厚木市教育委員会 厚木市郷土資料館	特別展『農具から農機具へ ～流通民具が語るもの～』図録 『平成14年度 厚木市文化財年報 第2号』 『神奈川県厚木市 吾妻坂古墳 出土資料調査報告』 特別展『あつぎ地域の草木 花めぐり』図録 『あつぎがいど! あつぎ野山や川の散策ガイド』 『あつぎがいど! あつぎ野山や川の散策ガイド ～増補改定版～』 『資料館資料集;№17 厚木市七沢の動植物1』 『厚木市郷土資料館年報 2』	2003/11 2004/03 2004/03 2002/12 2003/03 2004/03 2003/05
綾瀬市	神奈川県立環境保全センター 綾瀬市秘書課	『神奈川県立環境保全センター報告 第1号 №1』 『市史だより』第26～28号 『綾瀬市史5 通史編 原始・古代』 『綾瀬市史10 別編ダイジェスト 写真でみるあやせ』	2003-2005 2002/03 2004/03
相模原市	相模原市教育委員会 相模原市立博物館	『平成16年 相模原市文化財年報』 『相模原市埋蔵文化財調査報告書31 田名向原遺跡II』 『相模原市立博物館 NEWS』Vol.30, 33～37 特別展『水晶ってすばらしい! ～その美と実力の魅力～』図録 『相模原市立博物館 研究紀要 第13集』	2004/08 2004/03 2003-2005 2003/07 2004/03
座間市	相模原市立 相模川ふれあい科学館 座間市教育委員会	『相模原市立 相模川ふれあい科学館だより』№18, 19 『座間むかしむかし 第二十六集』 『座間市文化財調査報告書 第17集 護王姫社の絵馬』	2003-2004 2004/03 2004/03
茨城県	上高津貝塚ふるさと歴史の広場 玉里村史料館	特別展『山野を駆ける土偶 ～その移り変わりと祈るの具～』図録 企画展『土浦の遺跡8 発掘された土浦城 ～地中に眠る知られざる歴史～』図録 『史跡 土浦城跡II』 『山川古墳群(第2次調査)』 『北西原遺跡(第一次調査)』 『北西原遺跡(第3次・第4次調査)、山川古墳群(第1次調査)』 『六十原遺跡』 『大宮前遺跡』 『土浦市 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第10号 ～2003(平成15)年度～』 特別展『霞ヶ浦の弥生土器』図録 『玉里村史料館報 Vol.9』	2005/03 2004/10 2004/03 2004/03 2004/03 2003/11 2004/03 2003/03 2004/10 2004/03
栃木県	東町立歴史民俗資料館 小山市立博物館 農業史博物館	企画展『東町仏教遺宝展 御仏のかたち』図録 企画展『魂文人の知恵と力』図録 『小山市立博物館報 第20号 平成14年度版』 『小山市立博物館報 第21号 平成15年度版』 『横浜市青葉区 寺下遺跡』 『横浜市青葉区 釈迦堂遺跡2地区』 『川崎市宮前区 大蔵地区遺跡群』	2004/11 2004/04 2003/09 2004/10 2003/09 2003/09 2004/03
群馬県	北橋村教育委員会	企画展『魂文土器は変身する』図録 『北橋村村内遺跡 X1』 『北橋村文化財年報 5』	2004/10 2004/03 2004/03
埼玉県	埼玉県立博物館 春日部市遺跡調査会 さいたま川の博物館 税務大学校租税史料館 鶴ヶ島市教育委員会 富士見市立資料館	『埼玉県立博物館 紀要 29』 『春日部市遺跡調査会報告書第13条 坊宮遺跡2次調査地点』 『春日部市遺跡調査会報告書第14条 八木崎遺跡4次調査地点』 『春日部市遺跡調査会報告書第15条 小洲山下北遺跡7次調査地点』 『春日部市遺跡調査会報告書第16条 慈恩寺原南遺跡3次調査地点』 『かわはく』№16, 18～21 特別展『地歩の世界』図録 特別展示『町と村の地租改正』図録 『租税史料目録 昭和編(1)』 『租税史料館報 平成15年度版』 『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告 第55集 向山遺跡』 『平成14年度 富士見市立資料館 要覧』	2004/03 2004/02 2004/03 2004/07 2005/02 2003-2004 2004/03 2004/11 2004/03 2004/07 2004/03 2003/10

富士見市立難波田城資料館	企画展『むらをまるる消防』図録 企画展『わら縄のチカラ』図録	2003/10 2005/03
富士見市立水子貝塚資料館	企画展『市制施行30周年 記憶の原1972』図録 企画展『富士見の村絵図 ～描かれた村のすがた～』図録 企画展『開園10周年記念展 水子貝塚6000+10年』図録	2003/03 2004/09 2004/12
三芳町立歴史民俗資料館	『貝の環 ～市民学芸員3年間の記録集～』 特別展『みよしの学校物語』図録	2003 2004/10
立正大学博物館	『埼玉県入間郡三芳町 新聞遺跡 ～TC区の調査～』 『埼玉県入間郡三芳町 新聞遺跡 町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』 『立正大学博物館 館報 万吉だより(MA GE TI NEWS) 第2号』 特別展『立正大学が発掘した 埼玉の古代史』図録	1989/03 1993/03 2003/12 2003/10
千葉県 伊能忠敬記念館	『伊能忠敬記念館 年報 第5号 平成14年度』	2004/03
国立歴史民俗博物館	企画展『海をわたった華花 ～ヒョウタンからアサガオまで～』図録 特別展『明治維新と平田国学』図録 『はにわ ～形と心～』図録 『れきはくにいこうよ 2002』	2004/07 2004/09 2003/03 2004/03
市立市川自然博物館	『市立市川自然博物館だより』79～90号 『年報 平成14年度』	2002-2003 2004/03
市立市川考古博物館	『平成14年度 市立市川考古博物館 館報 第30号』 『平成15年度 市立市川考古博物館 館報 第31号』	2003/12 2004/03
千葉県立中央博物館	『千葉県立中央博物館 研究報告 -人文科学- 第8巻第2号(通巻17号)』 『研究報告 人文科学 第8巻 第1号』	2004/03 2003/03
袖ヶ浦市郷土博物館	『～博学連携実践事例集～ その6はくの使いかた』	2003/03
千葉市立加賀貝塚博物館	『貝塚博物館 紀要 第31号』	2004/03
佐原市教育委員会	『佐原市内遺跡発掘調査概要 ～平成14年度～』	2004/03
館山市立博物館	『ミュージアム発見伝』No.71～73	2003-2004
千葉県立大沼博物館	『おとおね 73号』	2004
流山市立博物館	企画展『水郷 ～水のさとに生きる～』図録	2004/05
松戸市立博物館	企画展『昔のくらし探検く戸版』図録 『まつミュージアム No.13』	2004/07 2004
茂原市立美術館・郷土資料館	『松戸市立博物館 年報 第11号 平成15年度(2003)』 企画展『千葉県の自由民権運動』図録 企画展『長世都市の遺跡』図録 企画展『徳富蘆花と梅一輪 ～お響さんの青春と思い出～』図録	2004/03 2004/01 2005/01 2003/02
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	『とびのだい』No.13～15 『飛ノ台史跡公園博物館 紀要 創刊号』	2004-2005 2004/03
東京都 板橋区教育委員会	『第2回 櫻井寛受賞作文集』 『歴史民俗研究 第1輯 ～櫻井寛賞論集～』 『文化財年報6 (平成14・15年度)』	2004/01 2004/03 2005/03
板橋区立郷土資料館	特別展『杉原社介と前野町遺跡』図録 『板橋区立郷土資料館年報～16・17号合併号～ 板橋区立郷土資料館紀要～第15号～』	2004/09 2005/01
大田区立郷土博物館	『博物館ノート』No.133～138 『大田区立郷土博物館 紀要 第14号 平成15(2003)年度』	2004 2004/03
お礼と切手の博物館	『お礼と切手の博物館ニュース』vol.17, 18	2004-2005
お茶の水女子大学	『博物館実習報告 第20号 (2003年度)』	2005/02
外務省外交史料館	『外交史料館報 第18号』	2004/09
儀礼文化学会	『儀礼文化ニュース』131, 132, 135号	2003-2004
こどもの城	『こどもの城ニュース』No.136』	2003
駒澤大学禅文化歴史博物館	企画展『禅の探微・月舟宗胡 墨蹟展』図録 『駒澤大学禅文化歴史博物館藏品目録 絵画・墨蹟編Ⅰ』 『駒大史ブックレット2 宣教師日誌にみる大正期の駒大生 (その1)』 『駒大史ブックレット3 宣教師日誌にみる大正期の駒大生 (その2)』	2004/02 2004/06 2004/03 2004/12
駒澤大学博物館	『駒澤大学 博物館学講座年報 2003年度』 『駒澤VOICE 2005』 『駒澤大学百二十年 過去からいま そして未来へ』 特別展『しなわの大名下屋敷』図録	2004/03 - 2002/10 2003/10
品川歴史館	『品川歴史館 紀要 第18号』	2003/03
品川区立品川歴史館	『品川歴史館 紀要 第19号』	2004/03
昭和館	『昭和館 館報 平成15年度』	2004/10
世田谷区教育委員会	企画展『せたがやの瓦 ～だるま堂のあった風景～』図録	2004/11
全国民俗芸能保存振興市町村連盟	『全民連だより』第50, 51号	2004-2004
台東区下町風俗資料館	『下町風俗資料館 號外』12月/2003, 4.6.9月/2004, 3月/2005	2003-2004
玉川大学教育博物館	『博物館ニュース 集(SH)』No.23, 24 『玉川大学 芸術学科教員作品展』図録 『玉川大学教育博物館 館報 創刊号 2002年度』 『玉川大学教育博物館 館報 第2号 2003年度』	2004-2005 1997/10 2004/03 2005/03

	『アイコン図録』	-
	『別冊 アイコン図版解説』	-
県丹青研究所	『Museum Data』No.62～64	2003-2004
通信総合博物館	『通信総合博物館 年報 (平成15年のあゆみ)』	2004/09
(財)伝統文化活性化国民協会	『伝統文化』No.12～14	2004-2005
	『伝統文化をこどもに』	2004/03
東京都江戸東京博物館	『江戸東京博物館 NEWS』Vol.41, 42, 44～48	2003-2004
豊島区教育委員会	企画展『あつたかく暮らし』図録	2005/01
豊島区立郷土資料館	『かたりへ』No.72, 73, 75～77	2003-2005
	企画展『えきぶくろ ～池袋駅の誕生と街の形成～』図録	2004/07
	企画展『伊藤伊兵衛と江戸蘭芸』図録	2003/04
	『豊島の集団学童疎開資料集(8) 日記・書簡編Ⅶ 山田温泉火災関係資料』	2004/03
	『生活と文化 研究紀要 第14号』	2004/12
	『調査報告書 第17集 戦地からの手紙Ⅰ』	2005/03
(社)日本ユネスコ協会	『ユネスコ世界遺産年報2005 (No.10)』	2005/02
(財)日本博物館協会	『2004世界博物館大会 “博物館と無形文化遺産”』	2004
	『博物館の望ましい姿シリーズ1 使命・計画作成の手引き』	2004/03
	『博物館の望ましい姿シリーズ2 資料取り扱いの手引き』	2004/03
船の博物館	『資料ガイド5 ～戦前日本の最優秀客船～ 新田丸』	2005/02
縄文化環境研究所	『文環研レポート』第20, 22号	2003-2004
港区立港郷土資料館	『Cultivate』No.22～24	2004-2005
	『資料館だより』第49, 50, 54, 55号	2002-2005
	『港区立港郷土資料館へ行ってみよう!』第1, 2号	2003-2005
	特別展『江戸動物園鑑 ～出会う・暮らす・愛でる～』図録	2002/10
	『麻布幡橋地区家屋敷跡遺跡発掘調査報告書』	2002/06
	『越後糸川川松平家屋敷跡発掘調査報告書』	2003/08
	『承教寺跡・承教寺門前町屋敷遺跡発掘調査報告書』	2004/03
	『港区埋蔵文化財調査年報1 ～平成14年度の調査地～』	2004/03
	『港区人物誌二 永井荷風』	2005/03
	『港郷土資料館 館報 ～22～ 平成15年度版(2003年度版)』	2005/02
	『港区指定文化財資料 屋鋪五方相對替一件』	2005/01
港区教育委員会	『港区考古学ブックレット2 港区の江戸時代Ⅰ 伊万里・鍋島・薩摩』	2004/11
	『近世江戸城南地区の地域構成 (文政十一年開)江戸大絵図より 新橋港区史』付図復刻版』	2004/03
明治大学学芸員養成課	『Museum Study 15号 2003年 明治大学学芸員養成課程 紀要』	2004/03
	『Museologist 19号 2003年度 明治大学学芸員養成課程 年報』	2004/03
(財)吉田茂国際基金	『写真集 吉田茂』	2004/07
江戸東京たてもの園	特別展『イベント』はらっぱ ～夕暮れまで遊んだころ～』図録	2002/02
くにたち郷土文化館	企画展『くにたちの年中行事 ～四季の折(秋から冬へ)～』図録	2003/01
	企画展『三浦小平二展 ～青磁の世界～』図録	2005/05
	共催企画展『国立の古墳 ～四軒在家遺跡の発掘調査～』図録	2001/09
東京家政大学博物館	『吹米のポスター展 ～20世紀初頭のところ～』図録	1997/07
	企画展『レースの系譜 西と東の出逢い』図録	1999/11
	特別展『渡辺学園 裁縫離型コレクション』図録	2001/06
	『衣服に見る文様 ～日本の北・南～』図録	2002/10
	『語る人形たち』図録	2003/10
東京家政学院生活文化博物館	『年報 第14号』	2004/03
調布市教育委員会	『東京都調布市 埋蔵文化財年報 ～平成14年度(2002)』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告63 調布同遺跡 ～第9地点(工場解体工事)の調査～』	2002/09
	『調布市埋蔵文化財調査報告71 調布市の遺跡調査 ～第5集』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告72 調布同遺跡 ～第10地点(集合住宅建設)の調査～』	2004/06
調布市郷土博物館	『郷土博物館だより』No.63, 65～67	2003-2005
	『調布の文化財』第32～37号	2002-2005
	特別展『天神人形の世界』図録	2004/11
	企画展『下布田古墳群の調査』図録(改定版)	2003/11
	『調布市埋蔵文化財調査報告58 宿遺跡』	2005/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告61 上布田遺跡』	2002/09
	『調布市埋蔵文化財調査報告62 北浦遺跡』	2002/09
	『調布市埋蔵文化財調査報告64 下石原遺跡』	2002/11
	『調布市埋蔵文化財調査報告66 宿遺跡』	2003/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告67 下石原遺跡』	2003/06
	『調布市埋蔵文化財調査報告68 緑ヶ丘遺跡』	2003/06
	『調布市埋蔵文化財調査報告73 雲山遺跡・富士見町遺跡』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告74 中井地遺跡』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告75 下石原遺跡』	2004/08
	『博物館ブックレットNo.2 青南国民学校の神代村疎開』	2004/08

	バルテノン多摩	『(博物館部門)年報・紀要 第6号 2002年度』 『資料叢書 第1集 多摩市の植物目録』	2003/12 2004/03
		『資料叢書 第2集 太田克己家文書 ～勝海舟宛書簡を中心とする資料群』 『バルテノン多摩<博物館部門>年報 第7号 2003年度』 『バルテノン多摩<博物館部門>研究紀要 第6号』	2004/03 2004/10 2004/12
	府中市郷土の森博物館	『府中市郷土の森だより あるむせお』No.63, 66～71 『府中市郷土の森博物館 常設展ガイドブック』 『紀要 第17号』 『府中市内家分け古文書目録7 大國魂神社文書目録(1)』 『府中市内家分け古文書目録8 大國魂神社文書目録(2)』 『府中市郷土の森博物館年報 第17号』 『府中市郷土の森博物館年報 第18号』 『ブックレット5 武蔵府中くらやみ祭』 『ブックレット6 古代武蔵国府』	2003-2005 2004/03 2004/03 2004/03 2005/01 2004/03 2004/08 2004/10 2005/02
	福生市郷土資料室	特別展『江戸の教科書 ～往來物と子どもたち～』図録 特別展『小峰雨晴 水墨画 没後10年回顧展』図録 『福生市郷土資料室年報22 平成13年度』 『福生市郷土資料室年報23 平成14年度』 『ガイドブック 福生市の文化財』	2003/01 2004/02 2003/03 2004/03 2003/03
	町田市立自由民権資料館	『自由民権17号』 『民権ブックス17号 多摩/TAMA ～住民意識と地域イメージの物語～』 『見世物人形細工人達の系譜』図録	2004/03 2004/03 2004/03
新潟県	町田市立博物館	『上越市立総合博物館 年報 2003.4～2004.3』	2004/03
山梨県	環境省自然環境局生物多様性センター 南アルプス市教育委員会	『生物多様性センター ニュースレター』第7, 8, 10～14号 『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第1集 村北2遺跡』 『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第2集 寺部村附第6遺跡』 『若草町埋蔵文化財調査報告書 第4集 漢呂木道上第5遺跡(第Ⅱ地点)』 『八田村文化財調査報告書 第7集 六科・村北遺跡』 『郷形町文化財調査報告書 No.23 横道遺跡』 『郷形町文化財調査報告書 No.23 新居田B遺跡』 『八田村文化財調査報告書 第6集 平成13-14年度埋蔵文化財調査報告書』 『若草町埋蔵文化財調査報告書 第5集 狩盤境』	2003-2005 2004/03 2004/03 2003/03 2003/03 2001/09 2002/03 2003/02 2003/02
長野県	茅野市教育委員会 茅野市ハヶ岳総合博物館	『尖石遺跡』 『紀要 第12号 平成15年度』 『茅野市の博物館・文化財課だより ハヶ岳通信 No.22』	2004/03 2004/03 2004
岐阜県	(財)藤村記念館	『藤村記念館だより』第104, 106, 107～110号	2003-2005
静岡県	静岡市立登呂博物館 静岡県立美術館 月光文天台 袋井市教育委員会	『静岡市立登呂博物館報 14 ～平成15年度～』 『アマリス』No.69, 72～76 『暦 ～月日を奏でる世界～』 『平成14年度 掛之上遺跡』 『愛野向山Ⅱ遺跡』	2004-09 2003-2004 2004/02 2003/03 2004/03
	舞阪町立郷土資料館	『舞阪町立郷土資料館通信』第84～93号 『享和元年西国巡礼日記』 『平成15年度 2003 舞阪町立郷土資料館 年報 第13号』	2003-2004 2004-09 2004/06
	藤枝市郷土博物館 三島市教育委員会	『藤枝市郷土博物館 年報15』 『史跡 山中城跡』 『文化財年報 第15号』 『三島市埋蔵文化財発掘調査報告IX』	2004/03 2004/03 2003/12 2004/03
	焼津市歴史民俗資料館	『静岡県三島市 南山D遺跡、東山遺跡、香音Ⅱ-D遺跡、奥山遺跡』 『第五福龍丸 ～平和の願い～』図録 『焼津市歴史民俗資料館 年報17 ～平成14年度～』	2004/03 2004/08 2003/08
愛知県	安城市歴史博物館	『博物館ニュース』No.48 『年報 第13号 平成15年度』	2003 2004/08
	豊橋市教育委員会	『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第74集 東龍田古窯 橋良東郷古窯』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第75集 城戸中遺跡』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第76集 車神社古墳 宮脇1号墳 西側古墓群』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第77集 羽根井遺跡(Ⅰ)』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第78集 市内遺跡詳細分布報告調査書』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第79集 新堂/前遺跡』 『豊橋市遺跡地図』	2005/10 2005/10 2003/10 2004/03 2004/03 2004/03 2004/03
	豊橋市自然史博物館 豊橋市美術館	『豊橋市自然史博物館 年報 第16号 平成15年度』 『研究紀要 11号』 『研究紀要 12号』 『研究紀要 13号』	2004/06 2002/03 2003/03 2004/03
	豊橋市美術館友の会 亀山市歴史博物館	『風伯』第45～51号 特別展『龜山宿のつりかわり』図録	2002-2004 2004/10

		『平成14年度 亀山市歴史博物館年報 第9号』	2004/03
		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第十集 近世亀山の武家社会 ～石川家老加藤家～』	2004/04
		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第十一集 大名石川康通死後、家中騒動史料集』	2004/02
		『パルル Vol.27』	2003
滋賀県	ミキモト真珠島		
	大津市歴史博物館	『大津博だより』No.50, 51, 54～56, 58	2003-2005
	草津市教育委員会	『草津市文化財調査報告書 第54号 草津市文化財年報 X I』	2004/03
	草津市街道交流館	『街道文化』Vol.8～10	2004-2005
		2004年秋季テーマ展『浮世絵展 広重・三代豊国らの描く街道風景』図録	2004/10
京都府	南京都科学	『Museum Works』Vol.15, 16	2004-2005
	京都市動物園	『平成14年度 事業概要』	2003/12
	舞鶴市立赤れんが博物館	『赤れんが博物館 舞鶴赤れんがリポート No.10』	2003
大阪府	大阪市立自然史博物館	『大阪市立自然史博物館 収蔵資料目録 第34集 大阪府の蛾類』	2002/03
		『自然史研究 第384号』	2004/03
		特別展『実物 日本鳥の果図鑑 ～小海途銀次郎コレクション～』図録	2003/07
		『「学校」「地域」と自然史博物館』	2003/03
		『大阪市立自然史博物館 館報 27 (平成13年度)』	2003/03
		『大阪市立自然史博物館研究報告 56号』	2002/12
		『大阪市立自然史博物館研究報告 57号』	2003/03
		『大阪市立自然史博物館研究報告 58号』	2004/03
		『ミニガイド20 大阪の樹木2 ～社寺林の木～ ツバキ科・ヤブコウジ科』	2003/03
	富田林市教育委員会	『中野遺跡発掘調査概要V1』	2003/02
	富田林市遺跡調査会	『富田林市埋蔵文化財調査報告35 新堂慶寺跡 オガンジ地瓦窯跡・お亀石古墳』	2003/03
		『富田林市遺跡調査報告22 甘山南古墳』	2003/03
		『富田林市遺跡調査報告23 西板持遺跡 I』	2003/03
		『富田林市遺跡調査報告24 畑ヶ田南遺跡 I』	2004/03
		『「地域の自然」の情報拠点 自然史博物館』	2002/03
兵庫県	阪神戸内地域 自然史系博物館ネットワーク推進協議会		
	神戸市立博物館	『博物館だより』No.80, 81, 83～85	2003-2004
	龍野市立歴史文化資料館	特別展『摂保部 ～播磨国摂保部の文化財』図録	2004/09
鳥取県	全国かくれキリシタン研究会事務局	『平成15年度 全国かくれキリシタン研究会会誌 第15号』	2004/05
愛媛県	愛媛県歴史文化博物館	『歴博だより』No.33～35, 38～41	2003-2004
高知県	高知県立牧野植物園	『高知県立牧野植物園 年報 第3号 (2003)』	2004/05
宮崎県	北方町教育委員会	『北方町文化財報告書 第20集 上崎地区遺跡5』	2003/03
熊本県	熊本市現代美術館	『生人形と松本喜三郎』図録	2004
北海道	(財)アイヌ民族博物館	『アイヌ民族博物館だより No.51』	2004/09
		『アイヌと自然シリーズ第4集 アイヌと植物 (葉用編)』	2004/02
		『アイヌ民族博物館研究紀要 第8号』	2004/03
		『帯広百年記念館 紀要 第22号』	2004/03
青森県	帯広百年記念館		
	みちのく北方漁船博物館	『船の博物館だより』第4, 5号	2004/2005
		特別展『灯台 ～海の道しるべ～』図録	2003/10
		特別展『船の誕生』図録	2004/09
		『ムダマハギで海に出よう ～和船の換船技術～』	2004/03
岩手県	牛の博物館	『牛のはくぶつかん』第20, 22号	2004/10
		『モコ通信』第24～31号	2002-2004
		『家族で楽しむ企画展2005 コケッコウ』図録	2004/11
		『平成15年度 年報 (2003,4～2004,03)』	2004/10
福島県	奥会津地方歴史民俗資料館	『資料館だより 第2号』	2003

文化財

■文化財専門委員会

<委員の構成>

- ・委員 長／高橋秀男（植物）
- ・副委員長／稲葉和也（建築）
- ・委員／三浦勝男（歴史） 薄井和男（彫刻）
小川直之（民俗） 田尾誠敏（考古）

<委員会の開催>

- ・第1回／平成16年5月27日 平成15年度事業報告について、平成16年度事業計画について
- ・第2回／平成16年11月25日 平成16年度事業の進捗状況について、今後の予定について、報告事項、文化財指定候補について
- ・第3回／平成17年2月3日 平成16年度事業の進捗状況について、平成17年度事業予定について、報告事項、文化財指定候補について

■文化財の調査

<文化財巡回調査>

- 町内所在の国・県指定文化財等の現状と管理状況を把握するため、調査員2名を推薦（神奈川県教育委員会より委嘱）し、現地を巡回し実態を調査した。
- ・調査対象／2件（大磯高麗山の自然林、大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地）

<大磯町社寺建築調査委託>

- 町内の社寺建築についての調査を委託した。本年度はこれまでの補充調査とまとめを実施した。
- ・委託先／大磯町社寺建築調査委員会

■文化財の保護啓発

<史跡管理委託>

- 神奈川県指定史跡釜口古墳の敷地管理を委託した。
- ・委託先／岩本商事

<指定文化財の現状変更>

- 神奈川県指定文化財（天然記念物）および町指定文化財（天然記念物）の現状変更をおこなった。
- ・変更対象3件／（大磯高麗山の自然林1件、鷹取神社の社叢林1件、稲荷神社の樹林1件）

<指定文化財の保護>

- 指定文化財の保護と管理奨励のために、交付金ならびに修理等補助金を交付した。
- ・町指定有形文化財管理奨励交付金／16件
- ・民俗資料保存団体交付金／6件（高麗山神輿保存会、相模国府祭保存会、大磯御船祭保存会、西小磯七夕祭保存会、大磯町左義長保存会、白岩神社歩射保存会）
- ・指定文化財保存修理等補助金／2件（鷹取神社の社叢林、稲荷神社の樹林）

<文化財講座>

文化財に対する理解と保護啓発のために文化財講座をおこなった。

- ・テーマ/高麗山周辺地域に見られる薬用植物
- ・日 時/平成16年10月17日(日)
- ・講 師/石井竹夫氏(元獨協医科大学講師・薬剤師有資格者)
- ・参加者/41人

<文化財防火デー>

町内所在の文化財保有施設について、消防署の協力のもと防火設備点検をおこなった。

- ・対象施設/王福寺(本堂、文化財収蔵庫)
- ・日 時/平成17年3月11日(金)

■埋蔵文化財

<埋蔵文化財出土品整理委託>

緊急地域雇用創出特別対策事業の一環として、出土遺物の洗浄ならびに注記等を委託した。

- ・委託先/(株)玉川文化財研究所

<文化財保存処理委託>

堂後下横穴墓群出土金属製品4点(耳環3点、鉄1点)の保存処理を委託した。

- ・委託先/(株)東都文化財保存研究所

<緊急発掘調査等>

開発等にもない、埋蔵文化財にかかわる事前相談に対応し、立会調査ならびに試掘調査等を実施した。

- ・照 会/133件
- ・事前相談/27件
- ・立会調査/12件(馬場台遺跡<No.114>5件、坊地遺跡2件、No.118遺跡1件、No.120遺跡1件、No.101遺跡隣接地1件、No.114遺跡隣接地1件、No.148遺跡隣接地1件)
- ・試掘調査/7件(馬場台遺跡3件、No.169,96遺跡1件、No.111遺跡1件、坊地遺跡<No.107>1件、No.118遺跡1件)
- ・土木工事通知(法57条の3)進達/2件
- ・発見届・保管証、埋蔵物の文化財認定/1件

<調査概要>

遺跡の名称	No.169、96遺跡
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年6月2日～4日
所在地	大磯町虫窪字組板台、窪頭 /黒岩字沢尻、前野笹
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	33 m ²
調査の原因	公園墓地造成
発見遺構	なし
発見遺物	縄文土器
遺跡の時期	縄文時代
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備 考	

遺跡の名称	馬場台遺跡 (No.114) [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年6月23日
所在地	大磯町国府本郷字神嶺山下1, 414-3
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備 考	

遺跡の名称	馬場台遺跡45地点 (No.114)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年7月7日～22日
所在地	大磯町国府本郷字大畑1,392-1他
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	25 m ²
調査の原因	老人ホーム建設
発見遺構	土坑・溝上遺構
発見遺物	土師器、須恵器、鉄滓、動物遺体・陶器
遺跡の時期	古墳時代以降
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	No.114遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	
調査期間	平成16年7月8日
所在地	大磯町国府本郷字西馬場1,113-10、11
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	坊地遺跡 (No.107) [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年8月4日
所在地	大磯町高麗2-12-4
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	店舗
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	No.114遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	
調査期間	平成16年8月6日
所在地	大磯町生沢馬場尻23-11
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	33 m ²
調査の原因	公園墓地造成
発見遺構	なし
発見遺物	縄文土器
遺跡の時期	縄文時代
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	No.173、101遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	
調査期間	平成16年8月10日
所在地	大磯町国府新宿字長谷川556-39
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	馬場台遺跡46地点 (No.114)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年8月20日～21日
所在地	大磯町月京36-1
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	9.4 m ²
調査の原因	宅地分譲
発見遺構	なし
発見遺物	土師器
遺跡の時期	古墳時代以降
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	坊地遺跡R地点 (No.107)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年11月4日
所在地	大磯町高麗2-543-4外
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	4 m ²
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	南飯沼VI地点 (No.118)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年11月26日、30日
所在地	大磯町国府本郷字南川37
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	6.2 m ²
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	陶磁器
遺跡の時期	近代
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	馬場台遺跡	[立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地	
調査期間	平成17年1月21日	
所在地	大磯町国府本郷東馬場1337-3外	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	個人住宅	
発見遺構	なし	
発見遺物	なし	
遺跡の時期		
遺跡の保管		
備考		

遺跡の名称	馬場台遺跡	[立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地	
調査期間	平成17年2月2日	
所在地	大磯町国府本郷西馬場1113-6、8	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	個人住宅	
発見遺構	なし	
発見遺物	土師器	
遺跡の時期	古墳時代以降	
遺跡の保管	大磯町教育委員会	
備考		

遺跡の名称	No.148遺跡隣接地	[立会調査]
遺跡の種類	城跡	
調査期間	平成17年2月18日	
所在地	大磯町国府本郷513-1	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	個人住宅	
発見遺構	なし	
発見遺物	赤煉瓦	
遺跡の時期		
遺跡の保管	大磯町教育委員会	
備考		

遺跡の名称	No.120遺跡	[立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地	
調査期間	平成17年2月21日	
所在地	大磯町寺坂字根下668-18	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	宅地造成	
発見遺構	なし	
発見遺物	なし	
遺跡の時期		
遺跡の保管		
備考		

遺跡の名称	坊地遺跡	[立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地	
調査期間	平成17年2月24日	
所在地	大磯町高麗2-97-18外	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	個人住宅	
発見遺構	なし	
発見遺物	赤煉瓦	
遺跡の時期		
遺跡の保管	大磯町教育委員会	
備考		

遺跡の名称	南飯宿VI地点 (No.118)	[立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地	
調査期間	平成17年3月9日	
所在地	大磯町国府本郷字南川37	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	宅地造成	
発見遺構	なし	
発見遺物	なし	
遺跡の時期		
遺跡の保管		
備考	* 試掘調査：平成16年11月26日、30日	

遺跡の名称	馬場台遺跡47地点 (No.114)	[立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地	
調査期間	平成17年3月18日	
所在地	大磯町国府本郷字鳥戸1, 242-3外	
調査機関	大磯町教育委員会	
調査担当者	國見 徹	
調査面積		
調査の原因	宅地造成	
発見遺構	なし	
発見遺物	なし	
遺跡の時期		
遺跡の保管		
備考	* 試掘調査：平成16年10月28日～29日	

研究報告

大磯町郷土資料館所蔵の唐箕について

* 佐川 和裕

<はじめに>

大磯町郷土資料館では、収蔵資料の目録化を進めている。これまでにも、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがきⅠ』（平成 13 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがきⅡ』（平成 14 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料—衣—』（平成 15 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料—食—』（平成 16 年）を刊行したほか、『年報—平成 9 年度—』では「館所蔵民具目録—農具Ⅰ—」と題して、農耕に関わる民具のうち、鍬（ウナイグワ、サクリグワ、トグワ、マンガ）を実測図入りで集成している。今後も引き続き目録化の作業を進め、積極的に地域へ情報を還元していく予定である。

ところで、博物館の民具担当者や大学の民具研究者などによってネットワークされているパラサイト（関東民具研究会）では、平成 12 年から流通民具（千歯扱き・足踏み脱穀機・動力脱穀機・唐箕・万石）をテーマとして調査を進めている。当館でもこれに参加し、所蔵資料の再確認と採寸を実施して調査票を提出した。この調査は、神奈川県立博物館の共同研究としても位置づけられており、その成果はそれぞれ報告書等で還元されることになるが、パラサイトにおいては独自に論考集の編集が進められている。本来ならば当館収蔵資料の概略と考察をまとめ、論考集へ投稿すべきであったが、残念ながら時間的猶予がなかったため執筆に参加することができなかった。そこで、あらためてこの場を借り、独自にまとめておくことにした。

<調査収集の対象地域について>

当館は「湘南の丘陵と海」というテーマで活動を行っている。丘陵というのは、いわゆる大磯丘陵を指しており、調査収集対象も同地域が中心となっている。西の足柄平野と、東の相模平野の狭間に位置する大磯丘陵は、平野部との環境に大きな違いがあり、同時にそれは生業内容を始めさまざまな生活文化の特色となって現れている。例えば、足柄平野の西部（にしごおり）と呼ばれていた地域では、男が本田の準備をしている間に女が苗を取って田植えをすることが一般的であり（女の田植え地帯）、相模平野では女が苗取りをおこなう（男が田植えをすることが一般的であった（男の田植え地帯）。足柄・相模両平野の狭間に位置する大磯丘陵域では、谷戸田を中心とした狭小な水田が多いため、基本的には家族で人手が足りることが多い。しかし、クメンのいい（経済力のある）家では奉公人を置いたり、多少広い水田を持つ家や地域では、テマガワリ、ハンデマ、スケといった互助機

（* 当館学芸員）

能が機能していた。また、一部の家や地域では、西郡から腕利きの女性を依頼して田植えをしてもらっていたこともあったという。いわば、女の田植えと男の田植えが混在する地域といえよう。

この他にも、盆行事の際、屋外に作るツカヤスナモリと呼ばれる祭壇についても特徴がある。小田原市の国府津や管我から二宮町あたりまでの、いわゆる大磯丘陵西部では、フジサンなどと呼び、文字通り富士山のように大ぶりの砂山（土山）を作る家が多い。一方、大磯町以東ではやや小ぶりな砂盛りとなり、砂山というよりも壇という印象が強い。このような事例からすると、大磯丘陵は、酒匂平野・相模平野の双方の生活文化の重複位置にあることがうかがわれる。

比較的近距離にありながら東西の平野部との差異についてさまざまな事象において顕在化していることを考えれば、当然ながら内陸の神奈川県中央部や県北部との差異も十分に意識しながら地域分析していく必要があろう。今回のような脱穀具をはじめとした生業用具についても、東海道本線沿線であるという地理的な特性や条件も見逃せない。鉄道という交通手段を得た明治中期以降、販路や流通構造において、当地域ならではの大きな特色を見出せる可能性もある。このような点を常に念頭に置いておかなければならない。

<当館所蔵唐箕と若干の分析について>

唐箕は、胴内部に取り付けられた羽を回転させることによって生じる風力を利用して、初摺り後の米と初扱や塵などを選び分ける道具である。現在確認できる日本で最も古い唐箕は、明和 4 年（1767）の紀年を持つ京都府立総合博物館所蔵の唐箕とされるが、貞享元年（1684）に記された『会津農書』では、同時期に福島県会津地方で使われていることが確認されている。なお、唐箕には、脚の数や選別口の位置、漏斗の形や棚板の有無、風を起す回転軸の取り付け方などによって、西日本に多い型や東日本に多い型として特徴づけられている。また、選別口のないものや、とおし付の唐箕などの特異な型もみられる。以上の先行研究に明らかになっている事例を参考にしながら、当館所蔵の唐箕について若干の傾向を見てみたい。なお、形態の分類やその表記などは、基本的にはパラサイトで作成・使用した調査票による。

さて、当館では 26 点の唐箕を所蔵している。ほとんどが大磯町内で使用されていたものだが、若干ではあるが中井町、大井町で使用されていたものも含まれている。大磯丘陵域全体を考えた場合には、もう少し幅広い地域からの資料収集が望まれるが、凡その傾向は掴むことのできる数量であると考えている。

まず、唐箕の呼称であるが、当館の収集対象地域である大磯丘陵域では、トウミ、トアオリ、アオリと呼んでいる。足柄平野に位置する足柄上郡大井町から受け入れ

た資料は、いずれもトアオリと呼ばれており、大磯丘陵西部の二宮町や中井町などではトアオリ、またはアオリと呼ぶのが一般的である。大磯町内では、呼称が重複している場合が多いものの、傾向としては西部の旧国府町方面ではトアオリと呼び、東部の旧大磯町方面ではトウミと呼ぶことが多いようである。トウミ、トアオリの呼び名は、古い資料・新しい資料ともに同じ呼び名を使っていることから、呼称の違いは少なくとも唐箕の新旧によるという理由ではなさそうである。双方の呼び名を承知している話者もあり、むしろ話者の出身地が影響していることが伺われる。いずれにしても、大磯町の行政区域だけを取り上げても、たいへん小さな範囲であるにもかかわらず、呼称に違いがみえることは実に興味深い。

さて、当館所蔵唐箕26点中、紀年が墨書されているのは次の9点である。

No. 4 (明治33年購入)

No. 1 (明治36年製作)

No.10 (大正〇〇購入)

No. 6 (昭和4年購入)

No. 9 (昭和20年購入)

No.19 (昭和21年購入)

No.17 (昭和22年購入)

No.16 (昭和24年購入)

No. 2 (昭和25年購入)

当館において最も古いと思われる唐箕は、大磯町高麗から受け入れたNo.4で、明治33年の紀年を持っている。舟形の漏斗を上乗せし、棚板を持ち、2つの選別口に12本の支脚をもった比較的大型のものである。

これまで、当地域での聞き取り調査では、新しい時代の唐箕ほど小型軽量化するといわれてきた。たしかに、当地域では小型の唐箕が見られるようになるのは概ね戦後であるが、一方では同時期にそれまでと同じような大型の唐箕を購入している家も少なくない。ちなみに、購入代金の記録もあり、No.9は昭和20年10月に250円で、No.16は昭和24年に2000円で購入していることが分かる。僅か4年の購入時期の違いでこれほどまでに金額に差があるのは、貨幣価値の変化だけではなく、性能の差異によるものであろうか。昭和20年に250円で購入しているのは従来から使われていた大型の唐箕であり、昭和24年に2000円で購入したのは小型軽量化されたメーカー品とすることができる。小型軽量化された新しい製品も徐々に普及しつつあった一方で、昭和25年に至っても相変わらず従来型の大型の唐箕が購入されている(No.2)。したがって、製品の選択は、購入者の経済事情に合わせた判断によるものではないかと考えれば、実際に残された資料に大型の唐箕が多いこともうなづけよう。ただし、唐箕は米麦だけではなく、落花生など豆類の利用も頻繁であったことから、機能上それらが大型・小型唐箕の選択に関係があるのかどうかとも確認する必要があるかも知れない。

次いで、当館の収蔵している唐箕の形態的な特徴をみてみよう。まず、比較的古い時期から使用されている大型の唐箕では、漏斗はほとんどが舟形または三角形をした上乗せ式である。選別口を2つ持ち、一番口は正面、二番口は裏面に設置されている。また、脚の数は10本ないし12本となっており、東日本あるいは関東地方において一般的であるとする唐箕と同様の特徴を備えている。

しかし、戦後になると、中部や西日本で製作された小型唐箕がみられるようになる。漏斗が棚板に組み込まれた固定式のものもある。No.16を除いては、選別口は2つある。選別口の付け替えができるものもみられるが、そのほとんどが、一番口を正面、二番口を裏面に設置している。僅かNo.23において、使用者は2つの選別口とも正面に設置して使用していた。その理由については、残念ながら使用者(明治29年生)が既に亡く、聞き取ることはできない。

なお、これらの小型唐箕は、いずれも脚の数が4本であるということも大きな特徴である。

また、製造元が分かるものは次のとおりである。

No. 1 (愛甲郡厚木町・鈴木梅吉)

No.12 (京都市府相楽郡奈良電田停留所前・山際農機具商会/大正式唐箕小型)

No.14 (愛知県宝飯郡赤坂町・株式会社指波製作所/サシナミ式唐箕)

No.16 (愛知県宝飯郡赤坂町・株式会社指波製作所/指波式唐箕)

No.17 (秦野町東道・本吉喜一)

No.18 (愛知県宝飯郡赤坂町・株式会社指波製作所/サシナミ式唐箕)

No.20 (トキワ商会)

No.22 (愛知県宝飯郡赤坂町・株式会社指波製作所/サシナミ式新生號)

No.23 (小型理想號)

No.24 (サシナミ式・小型理想號)

No.25 (愛媛県口智郡小西村・安野農林株式会社/安野式ウチノ唐箕)

このうち、比較的大型の唐箕は2点である。No.1は、「干時明治三十六年癸卯年第八月製作」とある。No.17は「昭和二十二年八月二十六日求」とあり、戦後に購入したことが分かる。購入時期こそ違いますが、いずれも量産でなく職人が製作したものであろうか。今のところ製作者の情報を持ち合わせておらず、今後の調査に譲りたい。

製造元が確認できるものでは、愛知県宝飯郡赤坂町の株式会社指波製作所製が最も多い。そのほとんどが戦後になってからの購入とみられるものの、一部には戦前に使用していたという情報も聞き取っている(No.23)。

No.16・No.18・No.24についても、いずれも指波式(またはサシナミ式)と記されているため、指波製作所製であることが分かる。なお、ここには柏屋という名が併記さ

れている。№16には「昭和二十四年六月十日 二之宮柏屋ニテ求ム」とあり、柏屋というのは当時二宮町にあった農機具販売店の名であることが類推される。使用地は大磯町西久保と国府新宿であり、生活用品をはじめ農機具の購入には、距離的に近い隣接する二宮町へ行くことが多かったということも聞き取られている。なお、№25の安野式ウチバ唐箕は、胸部に昭和24年に開催された全日本農機具大博覧会において最高賞牌を受賞した旨が記されているため、それ以降に購入したことが分かる。

＜おわりに＞

以上、ごく簡単ではあるが、当館が所蔵している唐箕について概観し、若干の分析を試みた。しかし、当館が対象としている狭い調査収集地域では、限られた傾向のみしか見出すことはできない。これにはもちろん広範囲での調査が必要であり、当地域以外の状況を知ること

で当地域の特色も更に明らかになっていくことになるだろう。その意味では、神奈川県立歴史博物館やバラサイツによる報告書や論考集の刊行が待たれるところである。

なお、当初は、冒頭に述べたバラサイツの調査対象である脱穀具全般において概略をまとめるつもりでいたが、紙幅の関係から果たせなかった。別の機会としたい。

【参考文献】

- ・小坂広志「新たに発見された唐箕一年号を有する唐箕一覧表の作成」『民俗』167号 1999 相模民俗学会
- ・畠山 豊「唐箕二・三」『民俗』169号 1999 相模民俗学会
- ・加藤隆志「資料紹介 明治十年銘の唐箕」『民俗』173号 2000 相模民俗学会
- ・『大磯町史 8 別編民俗』2003 大磯町
- ・刈田均編『翠・馬銀・唐箕』2005 横浜市歴史博物館

大磯町郷土資料館所蔵唐箕一覧

№	(受入番号)	(資料名)	(使用地)	(備考)
1	1983-1101	トウミ	大磯町国府本郷	長1,610×奥562×高1,180 「□□□先雅品 干時明治三十六癸卯年八月製作 □□修得梅花」 「請合 販売所 愛甲郡厚木町 製造元 鈴木梅吉 賣〇人 奈良輪熊吉」
2	1984-0501	トウミ	大磯町東町	長1,560×奥565×高1,190 「大磯町北下町伊藤良助 昭和貳拾五年九月貳拾四日求之」
3	1984-0601	トウミ	大磯町国府本郷	長1,660×奥660×高1,200
4	1984-1001	トウミ	大磯町高麗	長1,660×奥650×高1,160 「明治參拾三年庚子九月吉日 中郡大磯町高麗村五百十七番地 内田孫兵衛」
5	1984-1108	トウミ	大磯町国府本郷	長1,655×奥645×高1,210
6	1984-1202	トアオリ	大磯町国府新宿	長1,670×奥530×高1,150 「昭和四年六月吉日 府川弥作 三十才」
7	1985-0202	トウミ	大磯町黒岩	長1,040×奥635×高1,025
8	1986-0806	トウミ	大磯町国府本郷	長1,500×奥540×高1,165
9	1990-0506	トウミ	大磯町寺坂	長1,590×奥418×高1,180 「昭和二十年十月新調 代金貳百五拾圓 中郡國府村寺坂六三九 湯口正敏」
10	1991-1101	トウミ	大磯町高麗	長1,705×奥560×高1,130 「大正□□□… 神……………」
11	1991-1201	トアオリ	大磯町生沢	長1,640×奥535×高1,200
12	1991-1205	トアオリ	大磯町国府新宿	長1,110×奥680×高1,000(漏斗欠) 大正式唐箕小型 山際農機具商会製作 発賣元 京都府相樂郡奈良電田停留所前

No.(受入番号)	(資料名)	(使用地)	(備 考)	
13	1993-1102	トウミ	大磯町高麗	長1,775×奥535×高1,160
14	1994-0504	アオリ	中井町井ノ口	長985×奥480×高1,145 新生號 サシナミ式唐箕(大歯回転数70回) 農林省通産省指定工場 愛知県宝飯郡音羽町赤坂 株式会社指浪製作所
15	1994-1202	トウミ(トアオリ)	大磯町国府新宿	長1,630×奥565×高1,165
16	1994-1204	トウミ	大磯町国府本郷	長1,043×奥503×高1,055 指浪式唐箕 指浪製作所 愛知県宝飯郡赤坂町 尺四巾 中型 「山口浦蔵 昭和二十四年六月十日 二之宮柏屋ニテ求ム ¥2,000」
17	1995-0403	トアオリ	大磯町国府本郷	長1,565×奥555×高1,210 寒野町東道 本吉喜一 「昭和二十二年八月二十六日求 山口栄助」
18	1995-1008	トウミ	大磯町西久保	長1,067×奥610×高1,170 柏屋 サシナミ式唐箕(大歯回転数70回) 農林省通産省指定工場 愛知県宝飯郡音羽町赤坂 株式会社指浪製作所
19	1997-0405	トウミ	大磯町大磯	長1,580×奥560×高1,180 「大磯町山王町 小川半之助 昭和廿一年四月吉日」
20	1997-0802	トアオリ	大井町	長950×奥580×高1,200 トキワ商会
21	1997-0802	トアオリ	大井町	長1,620×奥513×高1,265 *漏斗は別物の可能性
22	2001-0204	トアオリ	大磯町西小磯	長972×奥538×高1,123 新生號 サシナミ式(大歯回転数70回) 愛知県株式会社指浪製作所謹製
23	2001-0306	トウミ	大磯町国府新宿	長1,075×奥576×高1,035 小型理想號 (大歯回転数60回)
24	2001-1007	トアオリ	大磯町国府新宿	長1,140×奥693×高1,164 柏屋 小型理想號 サシナミ式
25	2003-1008	トウミ	大磯町国府本郷	長960×奥635×高1,200 安野式ウチバ唐箕 愛媛県口智郡小西村 製造元 安野農林株式会社
26		トウミ		長1,620×奥550×高1,190 *漏斗は別物の可能性



No.1 トウミ (大磯町国府本郷)



No.14 アオリ (中井町井ノ口)

年 報

平成 16 年度

◇ 平成 17 年 12 月 28 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463 (61) 4700

FAX 0463 (61) 4660